

財団法人広島県環境保健協会

# 健康科学センター事業年報

平成19年度（2007年）

財団法人広島県環境保健協会

# 目 次

|                            |    |
|----------------------------|----|
| I. 財)広島県環境保健協会とは           |    |
| 1. 沿革                      | 4  |
| 2. 基本理念・取組み目標・目的と事業        | 4  |
| 3. 事務局組織図                  | 5  |
| 4. 事業分類                    | 6  |
| 5. 平成19年度事業計画の基本事項(創立50周年) | 7  |
| (1) 協会のミッション               | 7  |
| (2) 時代背景の特記事項              | 7  |
| (3) 中期的みとおし(ミッション遂行のために)   | 7  |
| (4) 重点施策                   | 8  |
| II. 健康科学センター・健康クリニック事業     |    |
| 1. 平成19年度事業方針              | 9  |
| (1) 基本的取組み                 | 9  |
| 1) 概要                      | 9  |
| 2) 組織                      | 9  |
| 3) 中期ビジョン                  | 9  |
| 4) 事業計画一覧                  | 10 |
| (2) 重点事業                   | 10 |
| 1) 新健診制度の実施体制確立            | 10 |
| 2) 人間ドックメニューの開発            | 12 |
| 3) 巡回保健指導体制整備              | 13 |
| III. 平成19年度事業実績            |    |
| 1. 総合的環境保健事業               | 14 |
| (1) 総合健康管理事業               | 14 |
| 2. 健康教育に係る事業(コミュニティ)       | 16 |
| (1) 禁煙支援事業 ～脱煙(禁煙)外来～      | 16 |
| (2) 結核対策特別促進事業             | 16 |
| (3) 生活習慣病予防事業              | 17 |
| (4) 講師派遣                   | 24 |
| 3. 健康科学に係る事業 ～健康相談事業～      | 25 |
| (1) 健康相談                   | 25 |

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 4. 関係団体の事務局運営           | 27 |
| (1) 広島医療ネットワーク(メネット広島)  | 27 |
| (2) 広島転倒予防研究会           | 27 |
| 広島転倒予防セミナー開催状況          | 29 |
| (3) 広島禁煙支援ネットワーク        | 32 |
| 広島禁煙支援ネットワーク研修会開催状況     | 33 |
| (4) 広島心身医学協会            | 35 |
| 5. 法令指定事業               | 36 |
| (1) 医療法に基づく検査分析事業       | 36 |
| 1) 人間ドック及び診療            | 36 |
| ① 受診者数                  | 36 |
| ② 年代別受診者数               | 37 |
| ③ 有所見者数                 | 38 |
| ④ 年度別・性別有所見者数           | 38 |
| ⑤ 年度別・年代別有所見者率          | 39 |
| ⑥ 人間ドック6項目の有所見者率        | 40 |
| ⑦ その他の検診・検査             | 42 |
| ⑧ 事後指導                  | 42 |
| 2) 特定外来診療(生活習慣病改善プログラム) | 43 |
| 3) 精密検査                 | 44 |
| 4) 職域保健健診               | 44 |
| ① 定期健康診断及び特殊健診          | 44 |
| ア. 受診者数                 | 44 |
| イ. 有所見者数                | 45 |
| 5) 地域保健健診               | 47 |
| ① 基本健康診査                | 47 |
| ア. 受診者数                 | 47 |
| イ. 有所見者数                | 47 |
| 6) 大腸がん検診(便潜血検査)        | 49 |
| ア. 地域における検診             | 49 |
| イ. 職域における検診             | 49 |
| 7) 胃がん検診(ペプシノーゲン検査)     | 50 |
| ア. 職域における検診             | 50 |

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| 8) 前立腺がん検診(PSA検査) .....              | 50 |
| ア. 地域における検診 .....                    | 50 |
| イ. 職域における検診 .....                    | 51 |
| 9) 肝炎検査 .....                        | 52 |
| 10) 生活機能評価.....                      | 52 |
| (2) 原爆被爆者健康診断 .....                  | 52 |
| 1) 受診者数 .....                        | 52 |
| 2) 有所見者数 .....                       | 53 |
| (3) 学校保健に係る健診 .....                  | 53 |
| 1) 学校保健法に基づく健診・検査 .....              | 53 |
| (4) 悪性腫瘍発見数 .....                    | 54 |
| 1) 人間ドックにおける発見数 .....                | 54 |
| 2) 地域健診における発見数 .....                 | 54 |
| 3) 職域健診における発見数 .....                 | 55 |
| (5) 臨床検査技師法(登録衛生検査所)に基づく検査分析事業 ..... | 55 |
| 1) 腸内細菌の保菌検索実施数 .....                | 55 |
| 6. 一般受託事業 .....                      | 56 |
| (1) 作業環境測定 .....                     | 56 |

## I (財) 広島県環境保健協会とは

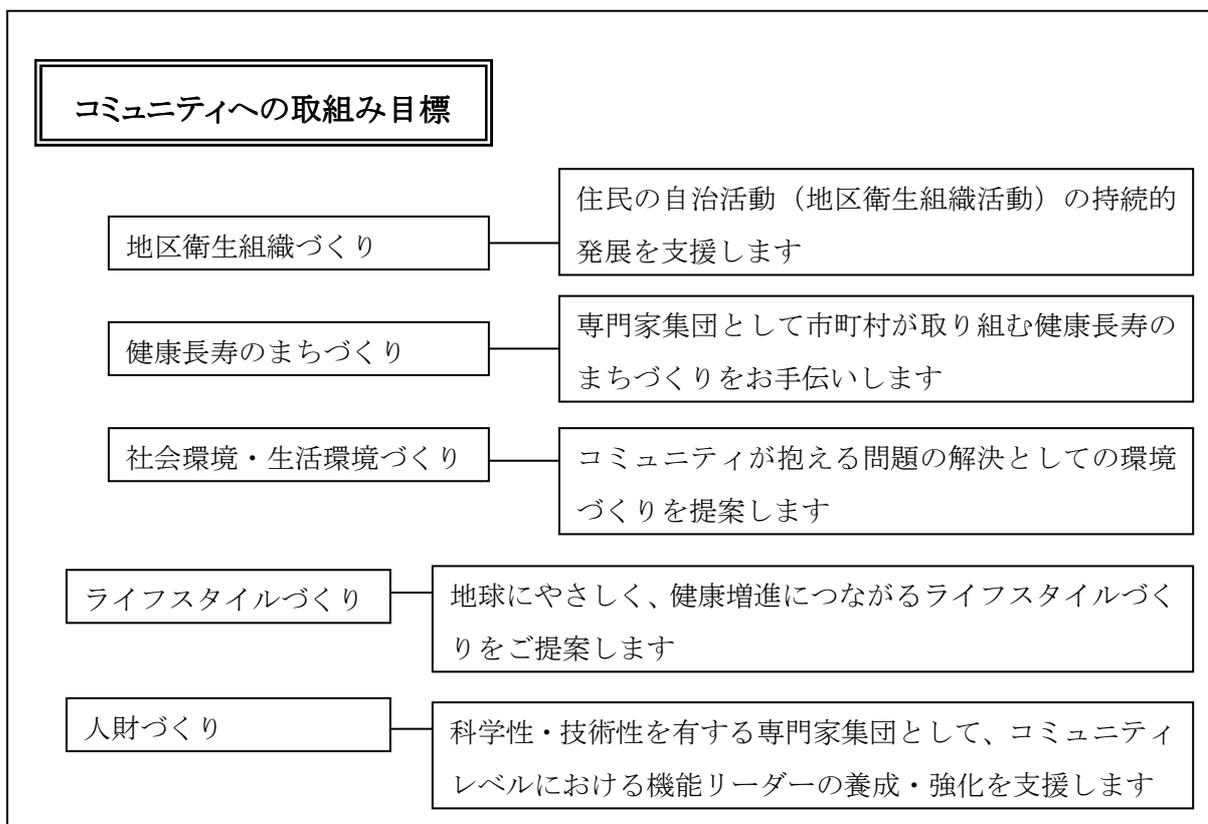
### 1. 沿革

財団法人広島県環境保健協会は、前身である社団法人広島県地区衛生組織連合会(県衛連)が昭和32年12月4日に設立されて以来、多岐にわたる事業を継続的に実施して来ています。

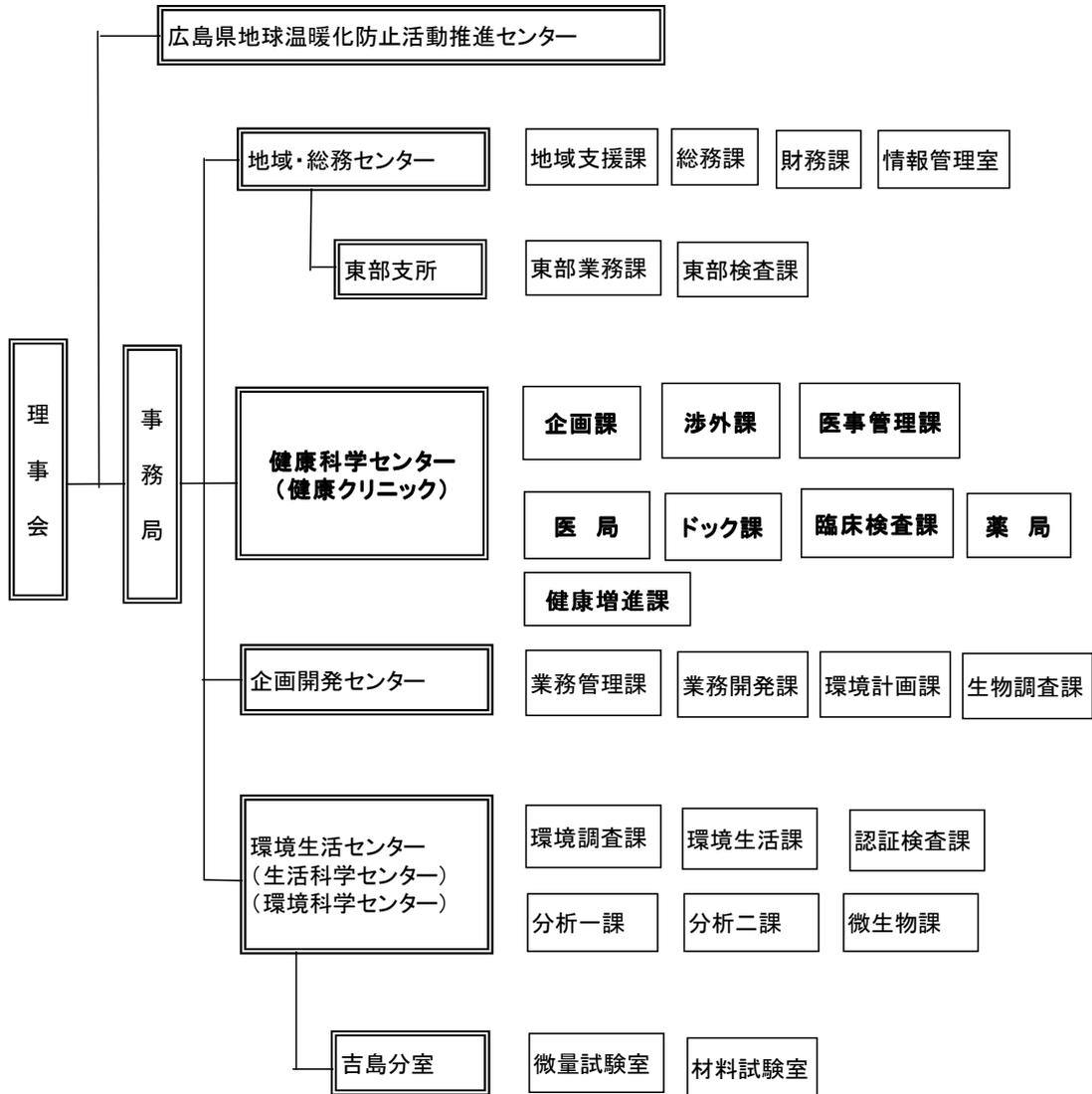
県衛連が誕生した背景は、第二次大戦の敗戦後に流行した急性伝染病が後を絶たず、県、市町村は防疫活動に苦慮していた。進駐軍が引き上げた後、住民協力体制を重視した「蚊とハエのいない明るい生活運動」を提唱、行政と住民の一体的な予防活動が項を奏し驚異的成果を挙げ社会の注目を浴びた。熱心な奉仕活動がボランティア組織の結成を訴えた結果、市町村に公衆衛生推進委員制度が設けられ、公衆衛生推進協議会を結成された。県全体の網羅組織として県衛連が誕生した。

### 2. 基本理念・取組み目標・目的と事業

#### コミュニティ(地域社会)における公衆衛生、環境保全の向上



3 事務局組織図(平成 19 年 4 月 1 日現在)



4. 事業分類:広島県環境保健協会が行う体外的事業として、地域社会に実践する地区衛生組織活動や一般的に顧客を対象として行うサービスとして、10種の代表的事業に分類し、公益性の高いと思われる順に①から⑩の記号を割り振り整理したものである。

#### 事業の種別

| 事業分類(大分類) | 用語の定義  | 代表的な事業例                                       |
|-----------|--|---|
| ①地域活動支援事業 | 地区衛生組織活動として、代表者会議運営、リーダー養成と組織づくり、助成事業、モデル事業、実践活動・イベント、募金事業など地域活動を支援する事業全般をいう。  | 健康感謝募金事業                                      |
| ②広報・教育事業  | 情報紙の発行などの広報活動や地域活動支援のための健康教育、環境教育などの教育啓発や調査研究等の事業をいう。(市町等からの受託事業は含まない。)  | 情報紙「環境と健康」の発刊<br>環境学習ルームの運営                   |
| ③環境保健促進事業 | 協会が標榜する「環境保健」に係わる分野において公益事業あるいは公益活動を促進する事業をいう。(健康教育、環境教育など市町等からの受託事業はここに入る。)<br>また、新たに開発する環境保健に資する事業(センターを跨る横断的なもの)もこの事業とする。 | 市町等からの受託事業の窓口事務事業<br>環境保健文化創造機構ほかの事務局事務       |
| ④環境保健研究事業 | 最終的な成果は、純然たる公益に資することを目的としている自主的な研究・開発事業をいう。  | 生ごみのコンポスト化とリサイクルの研究                           |
| ⑤法令指定事業   | 法令に基づいた事業であり、かつ認定・登録・実施することのできる法人が限定されている事業をいう。  | 地球温暖化防止活動推進センター事業<br>医療法、水道法第34条指定<br>食品衛生法指定 |
| ⑥行政委任事業   | 行政からの委任により、当協会が行う公共性の高い事業をいう。  | 建設工事材料試験<br>各分野の緊急検査体制整備                      |
| ⑦窓口受付事業   | 不特定の者が、協会受付に任意で持ち込む事業をいい、この分類に属する事業は原則として渉外担当課を経由せず契約しないもの。  | 井戸水検査、食品理化学・微生物検査、環境水検査                       |
| ⑧公的受託事業   | 当協会の専門性や特異性を認めた上で行政が委託する型の事業をいう。   | 水道マルチ管理事業、環境管理事業、希少動物調査事業                     |
| ⑨一般受託事業   | 一般的には、顧客(行政あるいは私企業、個人など)との間で見積書の了解を以て契約締結される形態の事業、契約書を取り交わすことにより契約締結される形態の事業をいう。   | 健康・生活・環境の各分野における検査分析・コンサル事業                   |
| ⑩自主研究開発事業 | 最終的な成果は、付随的に協会が行う収益に資することを目的としている自主的な研究・開発事業をいう。   | フミン質除去装置の開発と研究                                |

## 5. 平成 19 年度事業計画の基本事項(協会創立 50 周年)

### (1) 協会のミッション

①この法人は、環境保健に係るコミュニティの実践活動の支援及び科学的に裏づけされた技術の提供により、健康づくりと環境への負荷が少ない持続的発展が可能な社会環境づくりに貢献する。

(寄附行為第4条より)

②目的達成のため、広報・教育、検査・分析・測定、調査・研究、コンサルタント事業を行う。

(寄付行為第 5 条より)

③「代表者会議」を置き、コミュニティを基盤にした「地域実践活動」のあり方を協議、情報交換し、組織的に推進することで、地球環境にやさしく・健康増進につながるライフスタイルの定着を図る。

(寄付行為第 24 条・代表者会議設置要綱第 2 条より)

上記をまとめると、協会のミッション(目的・理念)は、「**総合的環境保健のまちづくりを実現するためのライフスタイルづくりと人財づくり**」にある。

### (2) 時代背景の特記事項

①協会創立 50 周年(12 月 4 日):原点の確認そして新たなページづくりへ

②公益法人制度改革の動き:H20 年 12 月 1 日「制度改革 3 法案」の施行が確実

(公益認定申請・移行期間は 5 年<H25 年 11 月末>)

③市町村合併終息…14 市9町時代へ:行政協働型地区衛生組織の育成支援策の確立

④環境経営・CSR(企業の社会的責任)の進展 「京都議定書」第 1 約束期間目前

⑤医療制度改革に伴う新健診制度の実施(H20 年度から)

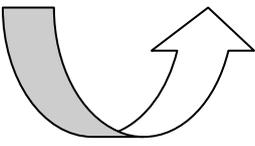
### (3) 中期的みとおし(ミッション遂行のために)

ミッション遂行のために必要な事業収入の確保に関しては、全般的に予断を許さない状況下にある。平成 17 年度はアスベスト問題による特需的収入増があったが、これを差し引くと、ここ数年は収入減が続いている。今年度の収入目標は 26 億 8 千万円の低位置となるが、中期的な傾向と目論見を検討していくと平成 21 年度には 29 億円台へ復帰する見込み。平成 19 年度を「底」として、策定途中の「中期事業計画」を早急に仕上げることで「這い上がる」手立てを確立し、ミッション遂行の土台づくりとしたい。

あわせて、公益法人としてのリーダーシップを発揮しうる社会運動のメニュー・システム・人財づくり等も継続的に拡充していく。

(4) 重点施策

平成 19年度の協会の重点施策としてキーワード的に、下記の項目をあげる。

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p style="text-align: center;"><b>協会創立 50 周年事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公衛協・行政との協働をテーマにした「モデル事業」(3 年継続)の実施</li> <li>・記念大会の開催<br/>(H19 年 10 月 12 日 尾道市)</li> <li>・小冊子の発行 など</li> </ul>     | <p style="text-align: center;"><b>コミュニティ支援の活性化</b></p> <p>コミュニティレベルでの実践活動の主体としての公衛協の力量形成(エンパワメント)を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>地域活動支援センター事業</b></li> <li>・ 推進委員制度の再考 など</li> </ul>  | <p style="text-align: center;"><b>脱温暖化社会への貢献</b></p> <p>「京都議定書」発効、ポスト京都の方向付けが明確となった今日、全力を挙げ、脱温暖化社会づくりに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>脱温暖化センター事業</b></li> <li>・ 地域協議会支援 など</li> </ul>  |
| <p style="text-align: center;"><b>内部体制等の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報発信システムの強化</li> <li>・ 危機管理システムの整備</li> <li>・ 人事給与制度の運用定着</li> <li>・ MBO(目標管理)推進</li> <li>・ ワークフロー化の推進 など</li> </ul> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">平成 19年度<br/>環境保健協会<br/>重点施策</div>   | <p style="text-align: center;"><b>経営基盤の健全化</b></p> <p>経営に直結する財務指標や業務状況の随時把握を行うとともに、経営会議のあり方などを建設的に議論していく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中期計画策定(継続)6 月まで</li> </ul>   |
| <p style="text-align: center;"><b>健康科学事業</b></p> <p>生活習慣病対策を中心とした予防医学事業への注目増大や新健診制度への移行直前という状況を積極的にとらえ、</p> <p>①伸びる事業分野への積極投資</p> <p>②顧客サービスの充実</p> <p>③ネットワーク型事業の推進を図ることで <b>8.6 億円</b>の事業収入をめざす。</p>           | <p style="text-align: center;"><b>環境生活事業</b></p> <p>公共事業の縮小や競争入札制度が定着するなかで、受注予測は厳しい環境下であり、従来事業を「守る」施策を継続強化することに加え、</p> <p>①土壌汚染対策に係る分析業務</p> <p>②EA21 認証取得支援に伴う環境監視業務</p> <p>③アスベストなどの大気測定業務</p> <p>④食品検査関連業務などを重点的に拡充していくことで <b>18.2 億円</b>の事業収入をめざす。</p> | <p style="text-align: center;"><b>東部支所事業</b></p> <p>東部地域の渉外・検査の拠点として、本部との緊密な連携を基に、3 億円の事業収入確保を図る。(支所単独の検査 <b>6200 万円</b>)</p> <p>公衛協活動支援にも力を入れ、地域活動支援センターと協働で</p> <p>①東部地域ネットワーク組織づくり</p> <p>②住民参画型の「計画」策定の推進などに貢献する。</p> <p>また、中期的視野から支所の将来発展のための計画策定を行う。</p> |

## II 健康科学センター・健康クリニック事業

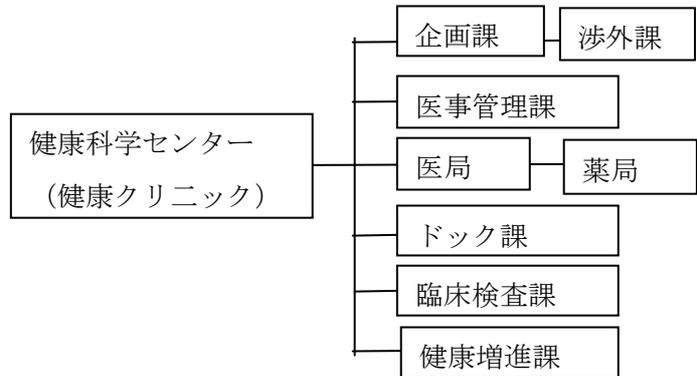
### 1. 平成 19 年度事業方針

#### (1) 基本的取組み

##### 1) <概要>

健康科学センター（健康クリニック）は予防医学の専門機関として、人間ドック・健診を基点にし、健康づくりのあらゆる課題に応えるべく、事業を展開する。

##### 2) <組織>



##### 3) <中期ビジョン>

###### ■ 伸びる事業分野への積極投資

医療費抑制の懸念はあるが、保険者による 40 歳以上の健診実施の義務化など生活習慣病対策を重点とした予防医学を積極的に推進する施策のもとで、健診機関の受注は伸長する見込である。

- 顧客満足度の高い充実したメニューを開発し、顧客ニーズに沿った健診事業を展開する。
- リピーターを確保するとともに新規顧客の受け入れ体制を拡充する。

###### ■ 顧客サービスの充実

- 接遇及び専門化としての技術力の向上を図る
- ITを駆使したシステム化による健診の合理化を推進する。

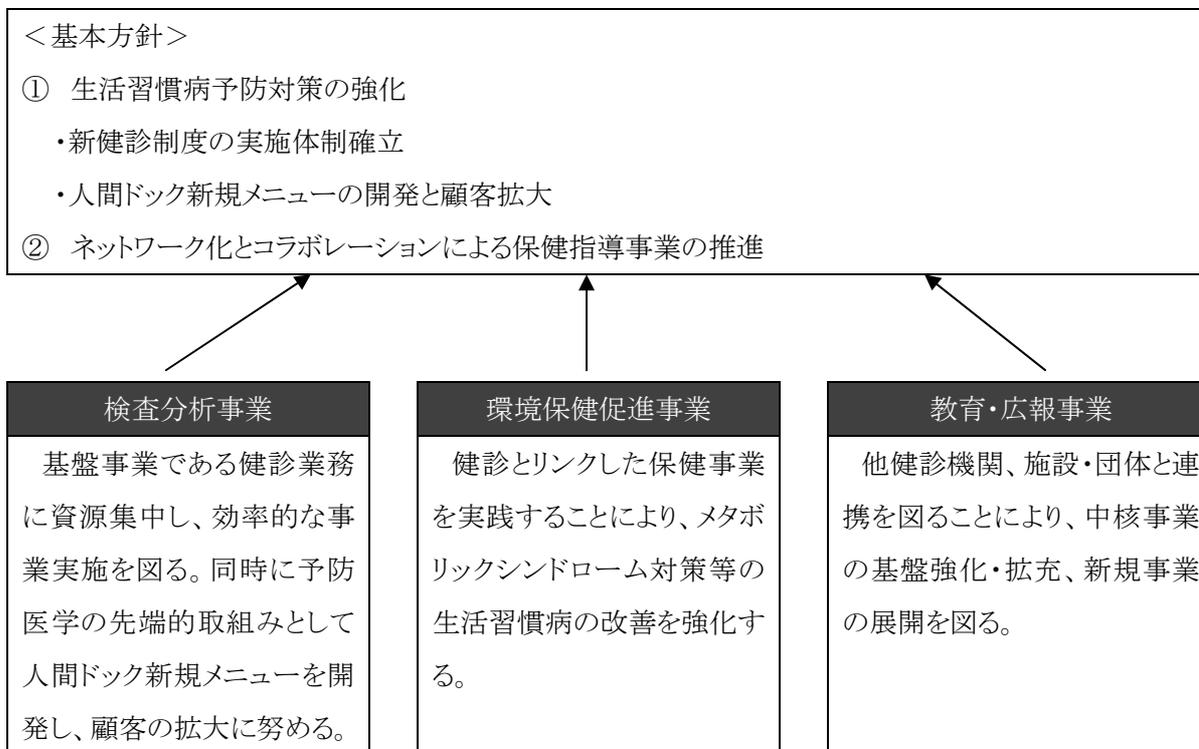
###### ■ ネットワーク型の事業推進

様々なニーズに対応した事業拡大のため、各種団体及び専門機関との業務提携により協同での事業実施を推進するとともに、健診機関の地位向上を目指す。

具体的には、生活習慣病対策としての保健指導・栄養指導・運動療法にも注力するため、スポーツセンターやスポーツジム等他資源を活用しネットワーク型の事業を推進する。

- 情報発信及び処理機能を強化する
- 他機関との連携を強化する

#### 4) 事業計画一覧



#### <健診検査事業>

- 人間ドック
- 職域健診
- 地域健診
- 原爆健診
- 学校健診
- 腸内細菌等検査
- 特定外来診療
- 治験事業

#### <総合健康管理事業>

- 食生活改善支援事業
- #### <コミュニティ事業>
- 生活習慣改善支援事業
  - 地域巡回転倒予防教室
  - 骨粗しょう症予防事業
  - 介護予防事業
  - 禁煙支援事業

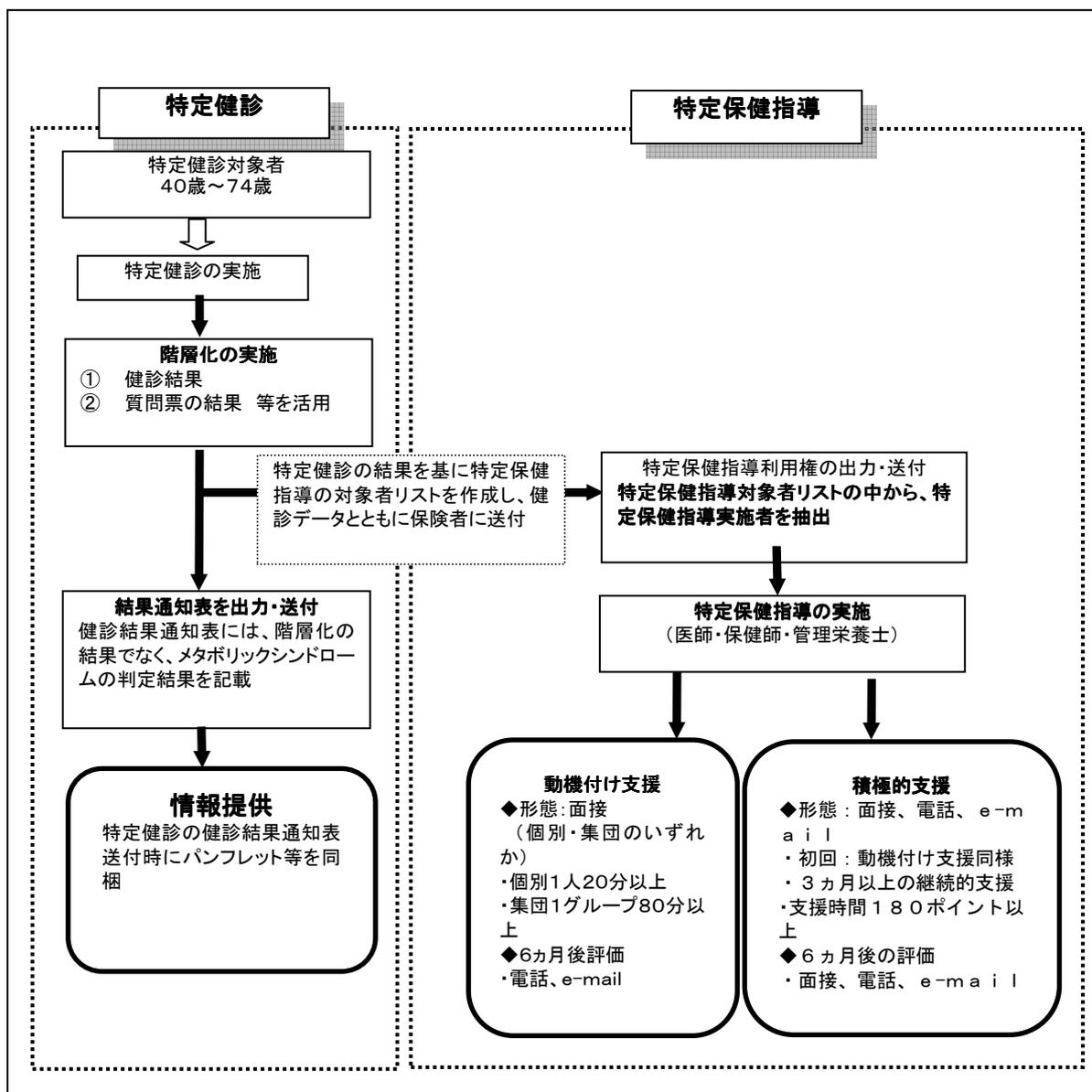
#### <関係団体の事務局運営>

- 広島医療ネットワーク
  - 広島転倒予防研究会
  - 広島県禁煙支援ネットワーク
- など

### (2) 重点事業

#### 1) 新健診制度の実施体制確立

平成 18 年度に成立した「医療制度改革関連法」において、平成 20.年度から医療保険者は医療費適正化の総合的な推進を図るため 40 歳から 74 歳までの被保険者、被扶養者に対して内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)等の概念を導入した特定健康診査・特定保健指導の実施が義務付けられた(高齢者の医療に関する法律 第 19 条)。【次頁の図参照】



そのため、平成20年度より保険者からの受託増加が見込まれ、新健診制度に対応した実施体制の確立が急務であり、次の対策を講じる。

① 実施方法及びシステム改修

特定健診の実施は、現行健診体制を基盤として展開するが、標準的な健診の実施への対応として、計画的な渉外(新制度の販促活動)・事前調整・実施要領の改訂・成績帳票類の刷新及びオフコンとパソコンとの連携による健診システムの改修を実行し、健診の計画から実施及び評価までの合理化を推進する。

② 要員の確保

受診者増及び保健指導事業強化のための、必要な人員を確保すると同時に各部門での

計画的な教育訓練を行い専門家としての技術力の向上を図る。特に目標達成のためには医師確保が急務である。

### ③ 精度管理

内部精度管理はもとより、第三者機関による評価として、医師会をはじめ各種団体・学会が実施する外部精度管理・評価認定事業へ積極的に参加し、高水準の検査精度と医療技術を維持する。

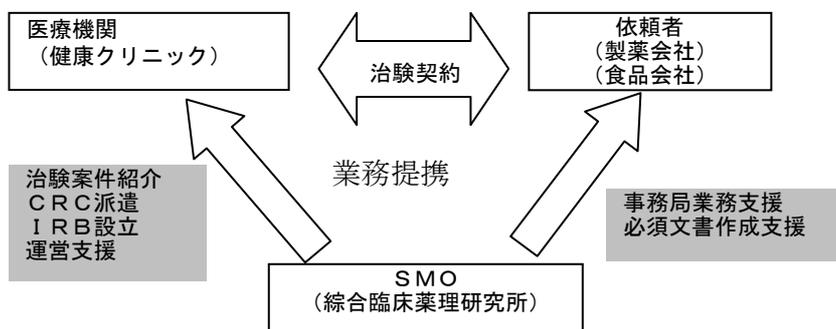
### ④ 提携による事業実施体制の推進。

#### ・ 国保ヘルスアップ事業の実施

平成 20 年度施行の新健診制度の試行事業として、(財)全国保健福祉情報システム開発協会等との業務提携を行い、従来の健診にとどまらず、分析から計画立案、実施、評価に至るまでの、効果的なメタボリックシンドローム対策事業を実現する。

#### ・ 治験事業

総合薬理研究所(SMO)との業務提携により、健康食品(特保)等の治験事業を展開する(概要は下記のとおり)



## 2) 人間ドックメニューの開発

### ① 来所型健診の拡充

人間ドック、診療・二次検査、来所健診の受診者受け入れ能力を 100 人/日に拡大する。このため、施設内健診フロアとして第二別館 1～3 階をリフォームする。

#### 施設内健診フロアの改修概要

- 1 業務内容 …… 来所健診・半日ドック・診療・その他
- 2 配置すべきもの: 総合受付・トイレ・採血室・計測室(身長・体重計、心電図)  
レントゲン室(胸部、胃、その他)・診察室・ロッカールーム

② 新規メニューの開発

従来より実施してきた「PETドック」「アンチエイジングドック」「動脈硬化ドック」「更年期ドック」をさらに充実させるとともに、「オーダーメイドドック」や様々なオプション検査を開発し、顧客ニーズに沿ったエビデンスに基づいた健診メニューを開発する。

3) 巡回保健指導体制整備

人間ドックのノウハウを活かした新事業として独自に開発した、「6ヵ月でできる健康づくり」(平成18年度より実施:下記参照)を基本とした、ITを駆使した個人のデータ管理及び生活改善支援を、前述の事業提供による他資源活用しながら、生活習慣病予防事業(メタボリックシンドローム対策)をさらに充実させ、取り組みを継続する。

また、実施の主体となる要員として、医師・保健師・栄養士・健康運動指導士を内部教育及び必要な外部研修に参加させ早期に養成し、保健指導体制を整備する。

【6ヵ月でできる健康づくり】 実施内容

|    | 第1回グループ指導   | 第2回グループ指導  | 改善度評価検査  | 第3回グループ指導   |
|----|---|--|--|---|
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 集団指導</li> <li>○ メタボリックシンドロームについて:保健師</li> <li>○ 一人前の食べ方:管理栄養士</li> <li>○ 運動の基礎知識 &amp; 実技:健康運動指導士</li> <li>● 二次検査</li> <li>身体測定:体重、体脂肪率、BMI、基礎代謝、腹囲、血圧</li> <li>血液検査:FIRI、FBS、A1c、TC、TG、HDL</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第1回個別面接</li> <li>○ 二次検査結果説明</li> <li>○ 行動目標を設定:保健師</li> </ul> | 身体測定:体重、体脂肪率、BMI、基礎代謝、腹囲、血圧<br>血液検査:FIRI、FBS、A1c、TC、TG、HDL:保健師 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第2回個別面接</li> <li>○ 目標の達成度確認、評価</li> <li>○ グループワーク:保健師</li> </ul> |
|    | ◎メールおよび郵送支援<br>○合計5回実施(開始から2週間・2ヶ月・3ヶ月・4ヶ月・6ヶ月後)  |  |  |   |

### Ⅲ. 平成19年度 事業実績

#### 1. 総合的環境保健事業 (③環境保健促進事業)

##### (1) 総合健康管理事業

【ねらい】 健診・結果説明・個別面接の実施に加えて、個々の受診情報のデータベース化や健康管理計画、健康増進プログラムの作成など、職域のニーズに応じた従業員の健康づくりを総合的に支援する。

##### 【実施内容】

###### ■フロー

健康管理計画の作成→一次健診→健康管理票作成(個人データのデータベース化)→健康管理計画作成→第1回個別面接(健診結果説明・事後措置の説明・ストレス状態の確認)→健康増進プログラム作成→運動セミナー→第2回個別面接(状況確認、未受診者フォロー)→生活改善実践→事業評価

###### ■目標

- ① 二次検査の完全実施
- ② 生活習慣病改善プログラム受診者数増加
- ③ メタボリックシンドローム対策の強化
  - 1) 血液データの正常化
  - 2) 腹囲 5cm 減少又は体重 7%減量
- ④ メンタルヘルスケアの充実

【結果】 実施事業所数:2社 DE中国株式会社(以下 DE 社)  
DM中国株式会社(以下 DM 社)

###### ■個別面接

##### ① 平成18年度事業(平成18年10月開始)

|     |     | 個別面接  | 実施日数 | 参加者数 | 参加率  |
|-----|-----|-------|------|------|------|
| DM社 | 第1回 | 市外事業所 | 5日   | 25名  | 100% |
|     | 第2回 | 市内事業所 | 4日   | 43名  | 100% |
|     |     | 市外事業所 | 3日   | 12名  | 100% |
| DE社 | 第1回 | 市内事業所 | 5日   | 86名  | 100% |
|     |     | 市外事業所 | 5日   | 40名  | 100% |
|     | 第2回 | 市内事業所 | 4日   | 35名  | 100% |
|     |     | 市外事業所 | 5日   | 16名  | 100% |

##### ② 平成19年度事業(平成19年10月開始)

|     |  | 個別面接  | 実施日数 | 参加者数 | 参加率  |
|-----|--|-------|------|------|------|
| DM社 |  | 市外事業所 | 5日   | 38名  | 100% |
| DE社 |  | 市外事業所 | 5日   | 37名  | 100% |

■メタボリックシンドローム対策

1) DM 社 メタボリックシンドローム該当者 10 名

重点管理対象 9 名、うち生活習慣病外来受診 4 名

(i) 体重(目標:7%減量)

改善:4 名(100.0%)→ 7%以上減量:0 名(0.0%)、

7%未満減量:4 名(100.0%) 不変・増悪:0 名(0.0%)

(ii) 腹囲(目標:5cm 減少)

改善:1 名(25.0%)→ 5cm 以上減少:0 名(0.0%)、

5cm 未満減少:1 名(100.0%) 不変・増悪:3 名(75.0%)

(iii) 血液検査データ

改善:3 名(75.0%)→ 検査値正常化:1 名(33.3%)、

検査値改善:2 名(66.6%) 不変・増悪:1 名(25.0%)

2) DE 社 メタボリックシンドローム該当者 11 名

重点管理対象 5 名、うち生活習慣病外来受診 1 名

(i) 体重(目標:7%減量)

不変・増悪:1 名(100.0%)

(ii) 腹囲(目標:5cm 減少)

不変・増悪:1 名(100.0%)

■運動セミナー

DM 社 第 1 回 参加者 16 名、第 2 回 参加者 14 名、参加率 75.0%

DE 社 第 1 回 参加者 8 名、第 2 回 参加者 9 名、参加率 60.7%

■健康づくりセミナー

①メンタルヘルス講演

「メンタルヘルスについて ～ラインケアを中心に～」

講師:中国労災病院精神科部長 中川一廣先生

DM 社 参加者 13 名(参加率 72.0%)

②生活習慣病予防・メンタルヘルス講演

「メタボリックシンドロームについて」

講師:広島県環境保健協会 健康クリニック 保健師

「メンタルヘルスについて ～ラインケアを中心に～」

講師:中国労災病院精神科部長 中川一廣先生

DE 社 第 1 回 参加者 20 名、第 2 回 参加者 23 名、第 3 回 参加者 20 名

(参加率 94.0%)

■メンタルチェック

【実施内容】

アンケート式ストレスチェックの実施

## 【結 果】

実施者数 1 事業所:170 名、要相談 34 名

## 【評 価】

平成 18 年度の二次検査受診率は DM 社では 72.0%、DE 社では 59.7% で昨年度に比べ両社とも低下し、過去 3 年間で最も低い受診率となった。毎年、検査値の変化がなく、同様の項目が受診指示され受診行動に結びつきにくい傾向が伺われる。受診勧奨の強化が必要である。また、肥満有所見者率は、健康管理事業を開始した平成 14 年から徐々に増加し、平成 18 年度は DM 社 20.8%、DE 社 31.8% となった。今後特定保健指導に対応した事業を展開し、メタボリックシンドロームの予防に努めていく予定である。

今年度も全社員を対象にストレスチェック(アンケート式)を実施した。今年度は職場におけるストレス要因や周囲の支援を把握できる内容に変更した。事後措置が必要な社員が 34 名と全体の 2 割を占めた。専門の医療機関への紹介や就業上の制限が必要な方はみられなかったが、ストレス過多の状態にある方が数名みられ、定期的な保健師面接により状況の確認に努めた。

## 2. 健康教育に係る事業(コミュニティ)

### (1) 禁煙支援事業 ～脱煙(禁煙)外来～

#### 【ねらい】

人間ドック受診者およびその他禁煙希望者を対象に、保険診療・自由診療にてニコチン代替療法とカウンセリングによる禁煙指導を実施し、禁煙を支援する。

#### 【実績】

平成 19 年度新規受診者 14 名 脱煙(禁煙)外来実施者 延べ 136 名

#### 【評価】

平成 19 年度新規受診者は 14 名と昨年度の 48 名を大きく下回った。現在、保険診療と自由診療の両方から受診者に合った方法を選択し、禁煙治療を勧めている。人間ドック受診時には禁煙希望を聞き、希望者には案内を行っている。また、平成 20 年度からは、特定保健指導の対象者への受診勧奨も強化し、睡眠時無呼吸症候群、動脈硬化症、肺機能低下等の疾患の治療とも連動させ、外来受診者増を目指す。

### (2) 結核対策特別促進事業

#### 【ねらい】

結核予防法による定期の健康診断および予防接種の着実な実施を図るため、県全域に対して結核予防思想の普及、啓発活動を実施する。併せて、地域の実情に配慮したきめ細かな予防措置を講ずることによって結核患者の減少に資する。

【実施内容】

| 市町村名                                   | 事業内容  | 開催日時   | 開催場所      | 対象者         | 人数 |
|--|-------|--------|-----------|-------------|----|
| 東広島市                                   | 連絡会議  | 6月6日   | 東広島地域事務所  | —           | 4  |
|  | 住民講習会 | 7月23日  | 保健福祉センター  | 公衆衛生推進協議会役員 | 24 |
|  |       | 8月1日   | 運動公園・体育館  |             | 23 |
|  |       | 9月27日  | 市総合福祉センター |             | 8  |
| 尾道市                                    | 連絡会議  | 6月5日   | 総合福祉センター  | —           | 4  |
|  | 住民講習会 | 8月21日  | サルボン尾道    | 保健推進委員      | 60 |
|  |       | 12月9日  | いききサロン百島  | 保健推進委員等     | 80 |
|  |       | 1月28日  | 吉和公民館     | 保健推進委員等     | 60 |
| 三次市                                    | 連絡会議  | 8月27日  | 備北地域保健所   | —           | 6  |
|  | 住民講習会 | 11月13日 | 河内CCセンター  | 老人クラブ*      | 18 |
|  |       | 11月14日 | 八次CCセンター  |             | 10 |
|  |       | 11月20日 | 青河八幡神社    |             | 23 |
| 合計：3市 12会場 320名（うち、連絡・打ち合わせ会議は3会場 14名） |       |        |           |             |    |

【評価】

地域住民講習会は東広島市、尾道市、三次市の3市12会場で開催し、受講者数は計320名であった。担当者の迅速な調整により、東広島市では全日程、尾道市では第1回目を健康診断実施前に開催し、受診勧奨を行うことができた。住民講習会では、結核予防法の改正点、感染症法への移行について説明を行い、結核の基礎知識向上を図った。

東広島市の検診受診率(6.1%)は昨年度に比べ0.3%増加したが、尾道市は4.9%と受診者数、受診率ともに半減した。三次市は初年度のため、来年度以降の評価となる。次年度以降も検診の受診勧奨および伝達講習を行い、未受診者層へのアプローチを行う必要があると思われる。

(3)生活習慣病予防事業

①平成19年度廿日市市宮島支所生活習慣病予防事業ヘルスアップセミナー

【ねらい】

集団指導と個別面接を行い、個々の状態に応じた行動目標を決定し、生活習慣の改善方法の習得および実践によるメタボリックシンドロームの改善を目指す。

【実施内容】

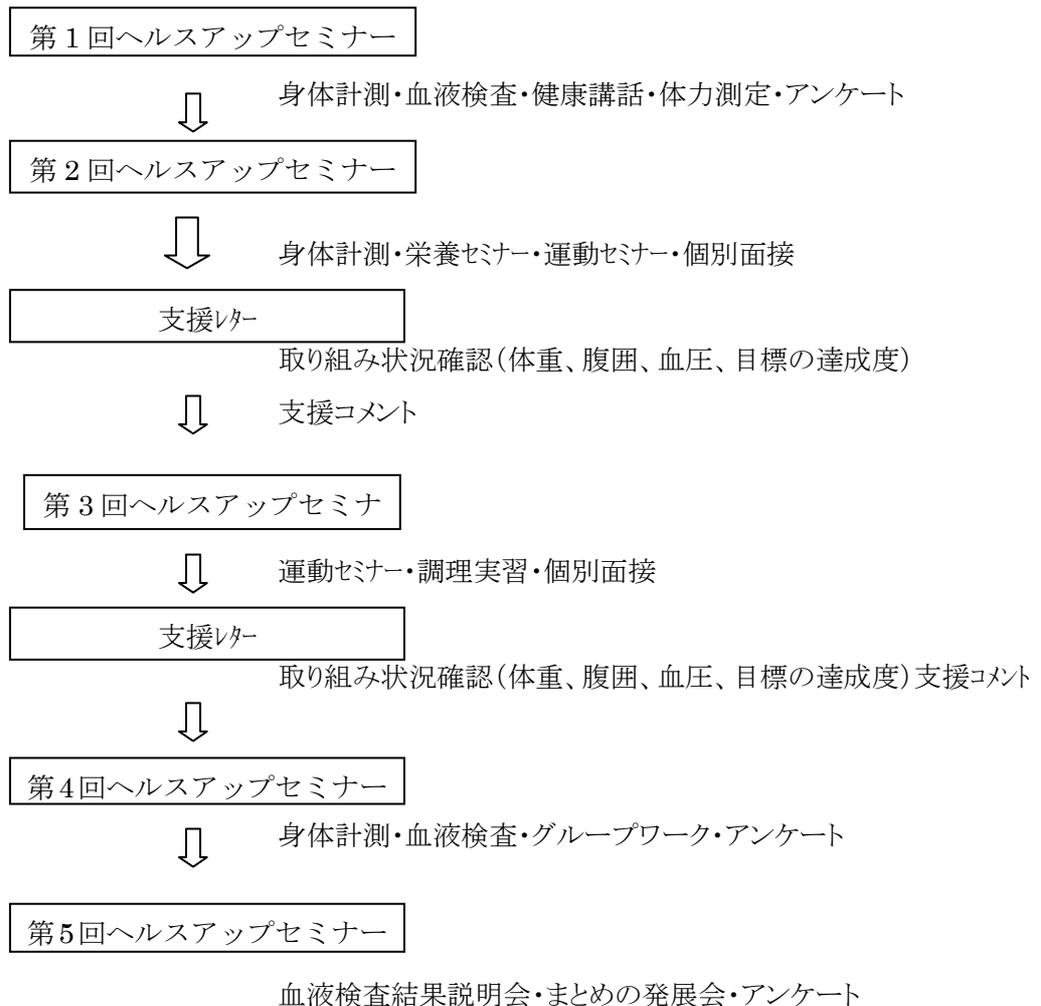
1) 対象者

i)、ii)の条件を満たし、iii)からv)のうち2項目以上に該当する方

(ただし、収縮期血圧 160mmHg以上または拡張期血圧95mmHg以上に該当する方、治療中の方は除く)

| 抽出項目                        | 内容                                    |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| i) 年齢                       | 65歳未満                                 |
| ii) BMI(体格指数)               | 25.0以上 30.0未満                         |
| iii) 空腹時血糖                  | 110~139mg/dl                          |
| iv) 収縮期血圧<br>拡張期血圧          | 130mmHg以上 かつ/または<br>85mmHg以上          |
| v) 高トリグリセライド<br>低HDLコレステロール | TG150mg/dl以上 かつ/または<br>HDL-c40mg/dl未満 |

2) フロー



### 3) 目標

(i) メタボリックシンドロームの改善

- ①血液データの正常化
- ②腹囲 5cm減少又は体重 5%減量

(ii) 生活習慣の見直しと改善(行動・意識の変化)

#### 【結果】

#### ■検査データの改善

##### 1) 体重・腹囲

評価対象 7 名(腹囲:男性 85cm 以上、女性 90cm 以上/体重:体格指数 25.0 以上)

##### ①腹囲(目標:5cm 減少)

改善:6 名(85.7%)→ 5cm 以上減少:1 名(16.7%)、5cm 未満減少:5 名(83.3%)

不変・増悪:1 名(14.3%)

##### ②体重(目標:5%減量)

改善:5 名(71.4%)→ 5%以上減量:1 名(20.0%)、5%未満減量:4 名(80.0%)

不変・増悪:2 名(28.6%)

##### 2) 血圧

評価対象 5 名(収縮期血圧 130mmHg 以上かつ/または 拡張期血圧 85mmHg 以上)

改善:2 名(40.0%)→検査値正常化:1 名(50.0%)、検査値改善 1 名(50.0%)

不変・増悪:3 名(60.0%)

##### 3) 血液検査データ

##### ①低HDLコレステロール血症 2 名(低HDLコレステロール 40mg/dl 未満)

改善 2 名(100.0%)→検査値正常化:2 名(100.0%)

##### ②糖代謝異常 5 名(空腹時血糖 110 mg/dl 以上またはヘモグロビンA1c5.5%以上)

改善:4 名(90.0%)→ 検査値正常化:0 名(0.0%)、検査値改善:4 名(100.0%)

不変・増悪:1 名(10.0%)

#### ■個別面接 対象者 10 名

1 回目 参加者 7 名(参加率 70.0%) 2 回目 参加者 10 名(参加率 100.0%)

3 回目 参加者 9 名(参加率 90.0%) 4 回目 参加者 10 名(参加率 100.0%)

5 回目 参加者 9 名(参加率 90.0%)

#### ■二次検診 対象者 10 名

1 回目 参加者 7 名(参加率 70.0%) 2 回目 参加者 10 名(参加率 100.0%)

#### ■支援レター対象者 10 名

1 回目 返信 9 名(返信率 90.0%) 2 回目 返信 8 名(返信率 80.0%)

【評価】

メタボリックシンドロームとメタボリックシンドローム予備群2名の判定を軽減させることはできなかったが、全体の7割が減量に成功し、評価対象者5名全員が検査データの改善を図ることができた。行動目標の達成率も高く、全員が生活習慣の改善に取り組むことができたことから、本セミナーで実施した支援は効果的であったといえる。平成20年度より開始される特定健康診査、特定保健指導に対応した保健事業を展開し、今後もメタボリックシンドロームの予防と改善に尽力していく。

② 2007年度 広島県市町村職員共済組合健康管理事業

「6ヶ月でできる健康づくり～メタボリックシンドローム改善セミナー～」

【ねらい】

集団指導と個別面接を行い、個々に応じた行動目標の決定および実践によるメタボリックシンドロームの改善を目指す。

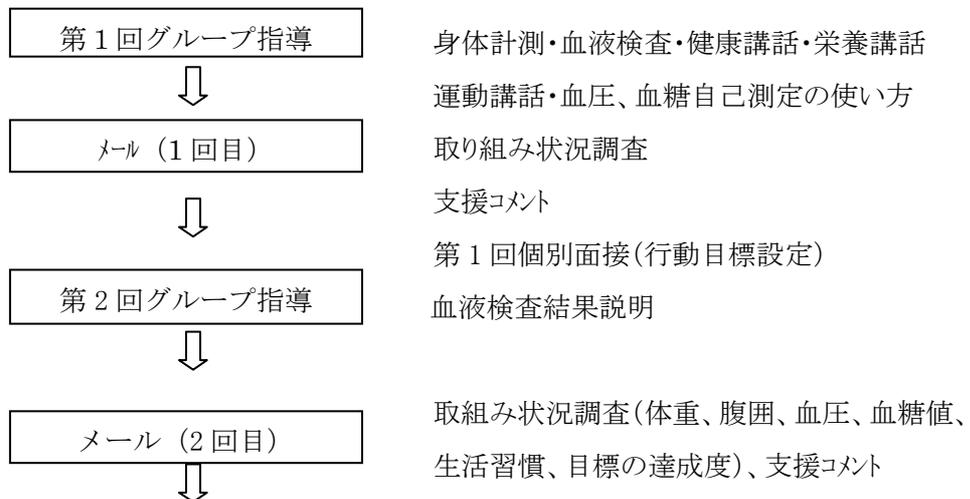
1) 対象者: 広島県市町村職員共済組合員

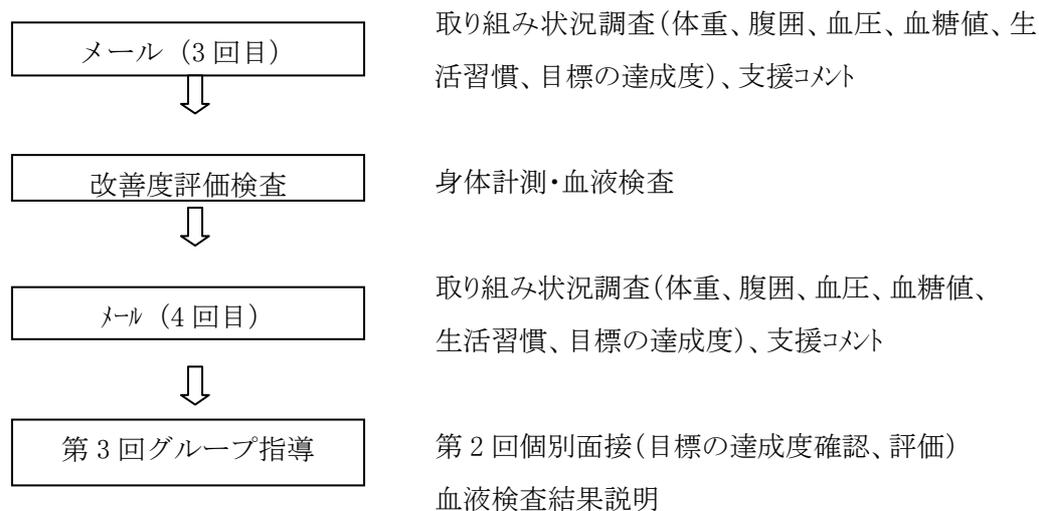
①の条件を満たし、②から④のうち2項目以上に該当する方

(ただし、治療中の方は原則対象から除外する)

| 抽出項目                   | 内容  |
|------------------------|---|
| ①腹囲 BMI(体格指数)          | 腹囲男性 85cm 以上、女性 90cm 以上<br>または BMI25.0 以上 |
| ②空腹時血糖                 | 110～125mg/dl                              |
| ③収縮期血圧 拡張期血圧           | 130～159mmHg かつ/または<br>85～94mmHg           |
| ④高トリグリセライド 低HDLコレステロール | TG150mg/dl 以上 かつ/または<br>HDL-c40mg/dl 未満   |

2) フロー





### 3) 目標

#### ( i ) メタボリックシンドロームの改善

i ) 血液データの正常化

ii ) 腹囲7cm 減少(下限値 80cm)または体重5%減量

#### ( ii ) 生活習慣の見直しと改善

### 【結 果】

#### ■ 参加者数

| 地域          | 対象者             | 内 容   | 開催日時        | 参加者  | 参加率(%) |
|-------------|-----------------|-------|-------------|------|--------|
| 福山市         | 9 名             | 第 1 回 | 12 月 5 日    | 9 名  | 100.0  |
|             |                 | 第 2 回 | 12 月 21 日   | 9 名  | 100.0  |
|             |                 | 第 3 回 | 3 月 28 日    | 8 名  | 88.9   |
|             |                 | 第 4 回 | 4 月 25 日    | 9 名  | 100.0  |
| 三原市         | 6 名             | 第 1 回 | 12 月 6 日    | 6 名  | 100.0  |
|             |                 | 第 2 回 | 12 月 19 日   | 6 名  | 100.0  |
|             |                 | 第 3 回 | 3 月 22 日    | 6 名  | 100.0  |
|             |                 | 第 4 回 | 4 月 20 日    | 6 名  | 100.0  |
| 呉市<br>水道局   | 12 名            | 第 1 回 | 1 月 24 日    | 12 名 | 100.0  |
|             | 10 名<br>※2 名対象外 | 第 2 回 | 2 月 14 日    | 10 名 | 83.3   |
|             |                 | 第 3 回 | 5 月 16 日    | 9 名  | 90.0   |
|             |                 | 第 4 回 | 6 月 13 日    | 10 名 | 100.0  |
| 尾道市<br>因島支所 | 19 名            | 第 1 回 | 1 月 26・31 日 | 19 名 | 100.0  |
|             |                 | 第 2 回 | 2 月 22 日    | 18 名 | 94.7   |
|             |                 | 第 3 回 | 5 月 22 日    | 17 名 | 89.5   |
|             |                 | 第 4 回 | 6 月 21 日    | 19 名 | 100.0  |
| 廿日市市        | 7 名             | 第 1 回 | 2 月 6 日     | 7 名  | 100.0  |
|             |                 | 第 2 回 | 2 月 26 日    | 7 名  | 100.0  |
|             |                 | 第 3 回 | 5 月 24 日    | 5 名  | 71.4   |
|             |                 | 第 4 回 | 6 月 27 日    | 5 名  | 71.4   |

|       |               |     |             |     |       |
|-------|---------------|-----|-------------|-----|-------|
| 呉市    | 38名           | 第1回 | 2月7・13・20日  | 38名 | 100.0 |
|       |               | 第2回 | 3月7・14日     | 38名 | 100.0 |
|       | 35名<br>※3名対象外 | 第3回 | 6月5・12日     | 32名 | 91.4  |
|       |               | 第4回 | 7月3・10・17日  | 30名 | 85.7  |
| 三次市   | 10名           | 第1回 | 2月21日       | 10名 | 100.0 |
|       |               | 第2回 | 3月19日       | 8名  | 80.0  |
|       |               | 第3回 | 6月6日        | 10名 | 100.0 |
|       |               | 第4回 | 7月19日       | 8名  | 80.0  |
| 庄原市   | 23名           | 第1回 | 4月11・18日    | 23名 | 100.0 |
|       |               | 第2回 | 5月9日        | 21名 | 91.3  |
|       | 21名<br>※2名対象外 | 第3回 | 8月10日       | 16名 | 76.2  |
|       |               | 第4回 | 9月18日       | 14名 | 66.7  |
| 東広島市  | 51名           | 第1回 | 4月16・17・24日 | 51名 | 100.0 |
|       |               | 第2回 | 5月14・15日    | 49名 | 96.1  |
|       | 50名<br>※1名対象外 | 第3回 | 8月1・2日      | 49名 | 98.0  |
|       |               | 第4回 | 8月30・6日     | 47名 | 94.0  |
| 安芸高田市 | 9名            | 第1回 | 5月23日       | 9名  | 100.0 |
|       |               | 第2回 | 6月18日       | 9名  | 100.0 |
|       |               | 第3回 | 9月7日        | 7名  | 77.8  |
|       |               | 第4回 | 10月18日      | 7名  | 77.8  |
| 北広島町  | 12名           | 第1回 | 5月29日       | 12名 | 100.0 |
|       |               | 第2回 | 6月19日       | 9名  | 75.0  |
|       |               | 第3回 | 9月14日       | 11名 | 91.7  |
|       |               | 第4回 | 10月4日       | 9名  | 75.0  |
| 坂町    | 14名           | 第1回 | 6月20日       | 14名 | 100.0 |
|       |               | 第2回 | 7月12日       | 14名 | 100.0 |
|       |               | 第3回 | 10月23日      | 12名 | 85.7  |
|       |               | 第4回 | 11月21日      | 13名 | 92.9  |
| 大竹市   | 10名           | 第1回 | 7月4日        | 10名 | 100.0 |
|       |               | 第2回 | 7月27日       | 9名  | 90.0  |
|       |               | 第3回 | 11月6日       | 10名 | 100.0 |
|       |               | 第4回 | 12月18日      | 10名 | 100.0 |
| 府中市   | 25名           | 第1回 | 7月9・11日     | 25名 | 100.0 |
|       |               | 第2回 | 7月31日       | 25名 | 100.0 |
|       | 24名<br>※1名対象外 | 第3回 | 10月31日      | 19名 | 79.1  |
|       |               | 第4回 | 12月4日       | 18名 | 75.0  |
| 熊野町   | 5名            | 第1回 | 7月13日       | 5名  | 100.0 |
|       |               | 第2回 | 8月8日        | 4名  | 80.0  |
|       |               | 第3回 | 11月15日      | 5名  | 100.0 |
|       |               | 第4回 | 12月10日      | 4名  | 80.0  |
| 府中町   | 13名           | 第1回 | 7月18・25日    | 13名 | 100.0 |
|       |               | 第2回 | 8月20日       | 12名 | 92.3  |
|       |               | 第3回 | 11月27日      | 12名 | 92.3  |
|       |               | 第4回 | 12月21日      | 10名 | 76.9  |
| 海田町   | 8名            | 第1回 | 7月24日       | 8名  | 100.0 |
|       |               | 第2回 | 8月23日       | 8名  | 100.0 |

|                           |     |     |             |     |       |
|---------------------------|-----|-----|-------------|-----|-------|
|                           |     | 第3回 | 11月20日      | 8名  | 100.0 |
|                           |     | 第4回 | 12月11日      | 7名  | 87.5  |
| 福山市<br>消防組合               | 12名 | 第1回 | 8月7日        | 12名 | 100.0 |
|                           |     | 第2回 | 8月27日       | 12名 | 100.0 |
|                           |     | 第3回 | 11月26日      | 11名 | 91.7  |
|                           |     | 第4回 | 12月17日      | 11名 | 91.7  |
| 江田島市                      | 14名 | 第1回 | 8月9日        | 14名 | 100.0 |
|                           |     | 第2回 | 8月29日       | 12名 | 85.7  |
|                           |     | 第3回 | 11月30日      | 11名 | 78.6  |
|                           |     | 第4回 | 12月20日      | 9名  | 64.3  |
| 福山市<br>水道局                | 11名 | 第1回 | 8月24日       | 11名 | 100.0 |
|                           |     | 第2回 | 9月13日       | 10名 | 90.9  |
|                           |     | 第3回 | 12月13日      | 11名 | 100.0 |
|                           |     | 第4回 | 1月10日       | 10名 | 90.9  |
| 安芸太田町                     | 8名  | 第1回 | 9月5日        | 8名  | 100.0 |
|                           |     | 第2回 | 10月1日       | 7名  | 87.5  |
|                           |     | 第3回 | 1月30日       | 7名  | 87.5  |
|                           |     | 第4回 | 2月25日       | 3名  | 37.5  |
| 竹原市                       | 13名 | 第1回 | 9月26日       | 13名 | 100.0 |
|                           |     | 第2回 | 10月16日      | 11名 | 84.6  |
|                           |     | 第3回 | 1月23日       | 9名  | 69.2  |
|                           |     | 第4回 | 2月19日       | 9名  | 69.2  |
| 神石高原町                     | 8名  | 第1回 | 10月3日       | 8名  | 100.0 |
|                           |     | 第2回 | 10月25日      | 8名  | 100.0 |
|                           |     | 第3回 | 2月6日        | 7名  | 87.5  |
|                           |     | 第4回 | 2月29日       | 5名  | 62.5  |
| 大崎上島町                     | 5名  | 第1回 | 10月17日      | 5名  | 100.0 |
|                           |     | 第2回 | 11月8日       | 4名  | 80.0  |
|                           |     | 第3回 | 2月7日        | 5名  | 100.0 |
|                           |     | 第4回 | 3月4日        | 5名  | 100.0 |
| 三次市②                      | 7名  | 第1回 | 10月19日      | 7名  | 100.0 |
|                           |     | 第2回 | 11月9日       | 5名  | 71.4  |
|                           |     | 第3回 | 2月5日        | 4名  | 57.1  |
|                           |     | 第4回 | 3月3日        | 2名  | 28.6  |
| 備北地区消<br>防行政組合            | 7名  | 第1回 | 10月22日      | 7名  | 100.0 |
|                           |     | 第2回 | 11月9日       | 5名  | 71.4  |
|                           |     | 第3回 | 2月5日        | 4名  | 57.1  |
|                           |     | 第4回 | 3月3日        | 4名  | 57.1  |
| 尾道市・<br>因島支所②             | 38名 | 第1回 | 1月11・15・16日 | 38名 | 100.0 |
|                           |     | 第2回 | 2月4・8日      | 36名 | 94.7  |
| 世羅町                       | 3名  | 第1回 | 1月25日       | 3名  | 100.0 |
|                           |     | 第2回 | 2月13日       | 3名  | 100.0 |
| 福山市②                      | 40名 | 第1回 | 1月28日       | 40名 | 100.0 |
|                           |     | 第2回 | 2月15日       | 39名 | 97.5  |
| 合計:25市町村(のべ29地区) 対象者:428名 |     |     |             |     |       |

■メール・郵送による支援(メール計5回、郵送計4回)

| 支援方法 | 対象者  | 返信者  | 発信回数<br>(延べ) | 返信回数<br>(延べ) | 返信率(%) |
|------|------|------|--------------|--------------|--------|
| 郵送   | 280名 | 190名 | 945回         | 463回         | 49.0   |
| メール  | 148名 | 130名 | 651回         | 309回         | 47.5   |

■メタボリックシンドローム改善状況

| 初回検査<br>(第1回セミナー検査結果) | 改善度評価検査    |            |            |
|-----------------------|------------|------------|------------|
|                       | メタボリック     | メタボリック予備群  | メタボリック非該当  |
| メタボリック 125人(100.0%)   | 62人(49.6%) | 43人(34.4%) | 20人(16.0%) |
| メタボリック予備群 94人(100.0%) | 18人(19.1%) | 46人(48.9%) | 30人(31.9%) |
| メタボリック非該当 40人(100.0%) | 2人(5.0%)   | 10人(25.0%) | 28人(70.0%) |
| 合計 259人(100.0%)       | 82人(31.7%) | 99人(38.2%) | 78人(30.1%) |

注1)  は改善度評価検査の結果、初回検査と比較し改善がみられた方である。

【評価】

平成18年度より継続して実施している広島県市町村職員共済組合健康管理事業は、これまで25市町村(のべ29地区)で実施した。平成19年度は新たに18市町村で開始し、三次市(備北地区消防広域行政組合)、尾道市・因島、福山市においては2回目の実施となった。

事業の終了した24市町村(26地区)の改善度評価検査の結果、初回メタボリックシンドローム125名のうち20名がメタボリックシンドローム非該当、43名がメタボリックシンドローム予備群となり、初回予備群94名のうち30名が非該当となるなど成果をあげることができた。

(4)講師派遣

【実施内容】

| 実施月日       | 講演名                          | 実施内容   | 参加者数 |
|------------|------------------------------|--|------|
| 5月12日      | 学校共済組合メタボリックシンドローム予防セミナー(広島) | ・メタボリックシンドロームとは<br>担当:青木所長<br>・運動の基礎知識と実技指導<br>担当:岡田健康運動指導士<br>・一人前の食べ方・食事体験<br>担当:三好管理栄養士 | 21人  |
| 7月6日       | 尾道市公衆衛生推進協議会保健推進員養成講座        | ・転倒予防運動の基礎知識と実技指導<br>担当:岡田健康運動指導士  | 37人  |
| 9月4日<br>5日 | 広島県健康福祉祭                     | 筋肉量測定<br>・結果説明・生活指導<br>担当:岡田健康運動指導士<br>松本保健師<br>法谷臨床検査技師                                   | 229人 |

|                |                          |  |      |
|----------------|--------------------------|--|------|
| 9月3日<br>13日    | DK社 メタボリックシンドローム予防セミナー   | ・メタボリックシンドロームとは<br>・特定健診、特定保健指導について<br>担当:生田保健師  | 84人  |
| 9月29日          | 府中市健康サロン事業               | ・体力測定と運動実践指導<br>担当:岡田健康運動指導士   | 240人 |
| 10月20日         | 学校共済組合 転倒予防セミナー(広島)      | ・転倒予防運動の基礎知識と実技指導<br>担当:岡田健康運動指導士  | 15人  |
| 10月30日         | 大崎上島町 メタボリックシンドローム予防セミナー | ・メタボリックシンドロームとは<br>担当:生田保健師<br>・一人前の食べ方<br>担当:岡崎管理栄養士<br>・運動の基礎知識と実技指導<br>担当:岡田健康運動指導士 | 13人  |
| 11月3日          | 学校共済組合 健康運動セミナー          | ・健康づくり運動の知識と実技指導<br>担当:岡田健康運動指導士   | 16人  |
| 11月18日         | 私立学校共済組合 健康運動セミナー        | ・健康づくり運動の知識と実技指導<br>担当:岡田健康運動指導士   | 26人  |
| 2月1日           | 大崎上島町 メタボリックシンドローム予防セミナー | ・フォローアップセミナー<br>・グループワーク<br>担当:生田保健師   | 6人   |
| 2月6日<br>20日    | DK社 メタボリックシンドローム予防セミナー   | 運動講座<br>・体力測定事後フォロー・運動実技指導<br>担当:岡田健康運動指導士   | 36人  |
| 2月15日          | 尾道市公衆衛生推進協議会 保健推進員養成講座   | ・メタボ予防運動の知識と実技指導<br>担当:岡田健康運動指導士   | 60人  |
| 3月5日<br>11日    | DK社 メタボリックシンドローム予防       | 栄養講座:一人前の食べ方<br>担当:岡崎管理栄養士   | 32人  |
| 3月22日          | 学校共済組合 健康運動セミナー(高知)      | ・健康づくり運動の知識と実技指導<br>担当:岡田健康運動指導士   | 16人  |
| 合計 14回 延べ 831人 |                          |  |      |

### 3. 健康科学に係る事業 ～健康相談事業～

#### (1) 健康相談

##### 【ねらい】

健康診断や人間ドック受診後の結果を正しく理解し、改善すべき目標を明確化して行動変容への動機づけや相談を行い、対象者の健康増進に資する。

【実施内容】

| 区 分     | 事業内容                                       | 事業所数 | 訪問回数 | 指導件数  |
|---------|--|------|------|-------|
| 事業所・事務局 | 保健師、栄養士による事業所訪問、健康相談(健診結果説明、健康目標の設定、改善度評価) | 17   | 196  | 2,873 |
| 市町役場    |  | 2    | 7    | 64    |
| 健康保健組合  |  | 1    | 2    | 26    |
| 事業所     | 長時間勤務者面接                                   | 2    | 13   | 195   |
| 合計      |  | 22   | 218  | 3,158 |

【評 価】

今年度、市町役場における健康管理事業を開始し、昨年に比べ2市町増加している。健康相談の中で、主な2つのパターンの実績を以下に示す。

- ① 総合健康管理事業(DE社・DM社)再掲
- ② 二次検査を含んだ健康相談(広島市巡回健康相談)

| 内 容 |   |
|-----|---|
|     | 医師、保健師による事業所訪問(全14事業所、各月1回)<br>健康相談および検査の実施(一次健診後の二次検査) |

| 項 目  | 事業所  | 健康相談  | 二次検査  |
|------|--|-------|-------|
| 実施結果 | 東区役所   | 122   | 110   |
|      | 安芸区役所  | 135   | 112   |
|      | 南区役所   | 150   | 140   |
|      | 佐伯区役所  | 241   | 220   |
|      | 安佐北区役所   | 263   | 211   |
|      | 安佐南区役所   | 214   | 195   |
|      | 安佐南環境事業所   | 133   | 32    |
|      | 安佐北環境事業所   | 212   | 26    |
|      | 南消防署   | 97    | 33    |
|      | 西環境事業所   | 204   | 43    |
|      | 西区役所   | 235   | 177   |
|      | 中環境事業所   | 160   | 22    |
|      | 南環境事業所   | 208   | 34    |
|      | 安芸環境事業所  | 189   | 22    |
| 合計   | 14事業所のべ168回  | 2,563 | 1,377 |
| 報告   | 各事業所とも毎月1回の健康相談を実施している。健康相談、二次検査の実施数は上の表に示すとおりである。 |       |       |

#### 4. 関係団体の事務局運営

##### (1) 広島医療ネットワーク(メネット広島) (<http://www.menet.gr.jp>)

###### 【ねらい】

広島県内の医師および大学関係者がインターネットを通じて医療情報の交流を促進し、地域医療の活性化と医療資源の活用を図ることを目的としている。当会は事務局として運営にあたっている。

###### 【実施内容】

| 実施月日   | 会議・研修等                            | 出席者数 |
|--------|-----------------------------------|------|
| 4月27日  | 第99回 MEN ε T 広島定例運営委員会 (於; 環保協)   | 6人   |
| 6月22日  | 第100回 MEN ε T 広島定例運営委員会 (於; 環保協)  | 9人   |
| 8月10日  | 第101回 MEN ε T 広島定例運営委員会 (於; 環保協)  | 7人   |
| 10月12日 | 第102回 MEN ε T 広島定例運営委員会 (於; 環保協)  | 8人   |
| 10月20日 | 第5回 TFC 勉強会 (於; 広大病院)             | 65人  |
| 11月10日 | 第6回 TFC 勉強会 (於; 広島大学)             | 40人  |
| 11月16日 | 第103回 MEN ε T 広島定例運営委員会 (於; ラセツテ) | 8人   |
| 1月11日  | 第104回 MEN ε T 広島定例運営委員会 (於; 環保協)  | 8人   |
| 2月9日   | 第1回 田坂メモリアルレクチャー 1日目 (於; 広大病院)    | 47人  |
| 2月10日  |                                   | 50人  |
| 2月22日  | 第105回 MEN ε T 広島定例運営委員会 (於; 環保協)  | 8人   |
| 3月8日   | 第5回 公開市民フォーラム (於; 県民文化センター)       | 158人 |
| 3月8日   | 第11回 定例総会 (於; メルキュール)             | 12人  |
| 計12回   |                                   | 426人 |

###### 【評価】

今年度も、3月に市民を対象とした公開市民フォーラム「住み慣れた家で死ぬということパートⅤ」を実施した。158人の参加であったが、熱心な市民が多く参加された。次回への期待も高かった。

##### (2) 広島転倒予防研究会 (<http://www.kanhokyo.or.jp/tentou/>)

###### 【ねらい】

近年、高齢化の進展に伴って高齢者の転倒事故が原因となった「ねたきり」が増加しており、高齢者の転倒予防は緊急の課題となっている。当会は広島大学大学院保健学研究科と協働して、広島県における転倒予防の研究を推進し、同時に地域に対しても指導者の育成、知識や情報の提供を行うために、転倒予防教室を実施するとともに、当初より同会事務局として運営にあたっている。

【実施内容】

| 実施年月日  | 会議・研修等  | 出席者数 |
|--------|---|------|
| 5月24日  | 第17回転倒予防研究会世話人会(於;環保協)  | 9人   |
| 7月1日   | 第18回転倒予防研究会世話人会(於;広島医師会館)   | 13人  |
| 7月1日   | 第7回ひろしま転倒予防セミナー(於;広島医師会館講堂)<br>●一般演題(12題)<br>●主 題『地域高齢者に対する転倒予防の実践とその効果』<br>座長:はたのリハビリ整形外科 院長 畑野栄治<br>講演:慶友整形外科病院<br>慶友転倒骨折予防医学センター長 大高洋平氏<br>実技:慶友転倒骨折予防医学センター<br>理学療法士 四方田良子氏、作業療法士 森田光生氏<br>●特別講演『美しく立つ』<br>座長:広島大学大学院保健学研究科 教授 飛松好子<br>講師:東京大学大学院 准教授 渡會公治氏 | 302人 |
| 11月15日 | 第19回転倒予防研究会世話人会(於;環保協)  | 12人  |
| 計3回    |   | 336人 |

【評価】

平成18年度に引き続き転倒予防セミナーの開催を柱に活動を展開している。第7回目の開催となる転倒予防セミナーは、302名の参加者を得た。今後も転倒の予防や対策についての情報及び経験の共有を目的に活動していく。

ひろしま転倒予防セミナー 開催状況

| 回数  | 実施年月日                          | 内 容  | 参加者  |
|-----|--------------------------------|--|------|
| 第1回 | 平成13年6月3日<br>於:広島大学医学部<br>広仁会館 | 講演:「転倒予防教室の重要性について」<br>広島大学医学部保健学科教授 村上 恒二<br>講演:「人の動きと転倒のメカニズム」<br>広島大学医学部保健学科教授 新小田 幸一<br>講演:「痴呆高齢者の転倒状況と関連要因」<br>広島大学医学部保健学科教授 吉村 理<br>講演:「転倒防止のリハビリテーション」<br>広島大学医学部保健学科 前島 洋<br>解説:地域巡回型転倒予防教室実施計画<br>財)広島県環境保健協会 大岡亜由美、岡田一彦<br>解説:転倒予防の今後の展望<br>財)広島県環境保健協会 理事 青木陽一郎 | 323人 |
| 第2回 | 平成14年6月10日<br>於:広島医師会館         | 研修講演:「転倒のメカニズム」<br>広島大学医学部保健学科教授 新小田 幸一<br>特別講演:「骨粗しょう症における運動療法」<br>兵庫医科大学整形外科 楊 鴻生<br>・一般演題1(5題) ・一般演題2(6題)   | 380人 |
| 第3回 | 平成15年7月7日<br>於:広島医師会館          | 研修講演:「地域在住高齢者に対する運動介入の報告」<br>川島整形外科病院リハビリテーション科長 木藤伸宏<br>研修講演:「素材とHip Protector」<br>畿央大学健康科学部教授 佐々木久登<br>特別講演:「転ばぬ先の杖と知恵—転倒予防教室の実際と今後」<br>東京厚生年金病院 理学療法士 田中尚喜<br>総合討論<br>ランチョンセミナー:「介護最前線～ITと携帯電話の活用～」<br>NTTドコモ中国モバイルフロンティア推進部長 山口雅明<br>・一般演題1(4題) ・一般演題2(3題)             | 360人 |
| 第4回 | 平成16年7月4日<br>於:広島医師会館          | ・パネル:徹底討論「店頭予防に有効な方法」<br>司会:はたのリハビリ整形外科院長 畑野栄治<br>広島大学大学院保健学研究科教授 新小田幸一<br>パネラー:   | 422人 |

|     |  |  |      |
|-----|--|--|------|
|     |  | <p>「転倒しにくい住環境とは？」</p> <p>広島国際大学社会環境科学部教授 野久尾尚志</p> <p>「パワーリハビリテーション」</p> <p>広島国際大学社会環境科学部教授 野久尾尚志</p> <p>「パワーリハビリテーション」</p> <p>医療法人社団聖仁会戸谷医院院長 戸谷完二</p> <p>「立ち上がり運動を中心とした転倒予防も取り組み」</p> <p>はたのリハビリ整形外科 徳山和宏</p> <p>「運動介入が地域在住高齢者の立位バランスに与える影響」</p> <p>広島大学大学院保健学研究科 前島 洋</p>   |      |
| 第5回 | <p>平成 17 年 7 月 3 日</p> <p>於:広島医師会館</p> | <p>・一般演題(9題)      ・転倒予防機器展示</p> <p>・主題:「予防体力づくり先進的な試み」～転倒予防の実践事例紹介～</p> <p>司会:はたのリハビリ整形外科院長 畑野栄治</p> <p>広島大学大学院保健学研究科教授 新小田幸一</p> <p>パネラー:「いきいきヘルスイっぱつ体操の実際」</p> <p>尾道市公立みつぎ総合病院 岡田奈穂美</p> <p>「太極拳を用いた健康増進運動の取り組み」</p> <p>いしい記念病院 宮本千沙</p> <p>「ガンバルーン体操の取り組み」</p> <p>特定非営利法人コーチズ 児玉 宏</p> <p>・特別講演:「薬と転倒」</p> <p>東北大学病院薬剤部 薬剤師 古館ひとみ</p> <p>・一般演題(9題)      ・転倒予防機器展示</p> | 400人 |
| 第6回 | <p>平成 18 年 7 月 9 日</p> <p>於:広島医師会館</p> | <p>・主題:「介護予防のリハ処方と実践」</p> <p>座長:広島市身体障害者更生相談所 所長 吉村 理</p> <p>講演:はたのリハビリ整形外科院長 畑野栄治</p> <p>座長:広島大学大学院保健学研究科教授 新小田幸一</p> <p>実技:はたのリハビリ整形外科 理学療法士 徳山和宏、谷淵直樹</p> <p>特別講演:「高齢者の転倒、骨折予防」</p> <p>座長:広島大学大学院保健学研究科教授 村上恒二</p> <p>講師:東京都リハビリテーション病院 院長 林 泰史</p>   | 271人 |

|     |                                 |  |      |
|-----|---------------------------------|--|------|
|     |                                 | ・一般演題(8題)  |      |
| 第7回 | 平成 19 年 7 月 1 日<br><br>於:広島医師会館 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主題:地域高齢者に対する転倒予防の実践とその効果」</li> <li>座長:はたのリハビリ整形外科院長 畑野栄治</li> <li>講演:慶友整形外科病院</li> <li>慶友転倒骨折予防医学センター長 大高洋平</li> <li>実技:慶友転倒骨折予防医学センター</li> <li>理学療法士 四方田良子、作業療法士 森田光生</li> <li>特別講演:「美しく立つ」</li> <li>座長:広島大学大学院保健学研究科教授 飛松好子</li> <li>講師:東京大学大学院 准教授 渡會公治</li> <li>・ 一般演題(12題)</li> </ul> | 302人 |

(3) 広島県禁煙支援ネットワーク (<http://www.menet.gr.jp/kin-en>)

【ねらい】

禁煙支援ネットワークは広島県内の医療保健ならびに学校教育関係に従事する人たちの広範な連携によって、たばこの害から県民の健康を守ることを目的としており、当会は事務局として運営にあたっている。

【実施内容】

| 実施年月日  | 会 議 ・ 研 修 等   | 出席者数 |
|--------|---|------|
| 5月18日  | 事務局調整会議(於;環保協)  | 4人   |
| 7月23日  | 第10回運営委員会(於;環保協)  | 13人  |
| 10月2日  | 事務局調整会議(於;福山市医師会)   | 5人   |
| 10月28日 | 第11回運営委員会(於;環保協)  | 10人  |
| 10月28日 | <p>●広島県禁煙支援ネットワーク公開講座(第6回研修会)(於;福山市医師会)</p> <p>◎活動状況パネル展示(研修会前後)</p> <p>福山市医師会・福山市・福山市保健所・教育委員会・企業</p> <p>◎基調講演Ⅰ『最近のたばこ事情』</p> <p>広島県禁煙支援ネットワーク運営委員 川根博司</p> <p>◎基調講演Ⅱ『禁煙支援最前線ーニコチン治療の現場からー』</p> <p>福山市医師会 海野 剛(福山市医師会喫煙対策委員)</p> <p>◎広島県禁煙支援ネットワークのあゆみ</p> <p>広島県禁煙支援ネットワーク運営委員 薦田直紀</p> <p>◎禁煙エブロンシアター 福山市薬剤師会 田口直子</p> <p>◎シンポジウム『福山市の喫煙状況とその対策』</p> <p>□シンポジスト:福山市保健所・福山市教育委員会<br/>福山東警察・福山市医師会</p> <p>□コーディネーター:広島県禁煙支援ネットワーク<br/>運営委員 木村真人</p> <p>『まとめ講話』 広島県禁煙支援ネットワーク運営委員長 岩森 茂</p> | 93人  |
| 計5回    |   | 125人 |

【評 価】

第6回研修会は福山市医師会を中心に、禁煙・防煙支援活動に関する情報提供をもとに、地域で取り組むたばこ対策を考え、実践活動へのきっかけとなることをねらいに福山市で開催した。また、随時禁煙に関する情報を収集しホームページの充実に取り組んでいる。

広島県禁煙支援ネットワーク研修会 開催状況

| 回数  | 実施年月日                     | 内 容  | 参加者 |
|-----|---------------------------|--|-----|
| 第1回 | 平成14年8月3日<br>於：広島医師会館     | <p>パネル討議～禁煙支援ネットワーク構築に向けての各団体の取り組み～<br/>グループ① 司会：福山市医師会長 黒瀬康平</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 広島市の禁煙支援ネットワークの構築に向けての取り組み<br/>広島市社会局保健部保健医療課 保健予防担当課長 井堰正文</li> <li>2. 「健康広島21」における禁煙対策の取り組み<br/>広島県福祉保健部保健医療総室 健康増進室長 松原知子</li> <li>3. 広島禁煙支援ネットワーク<br/>広島県医師会禁煙推進委員会委員 徳永 豊</li> <li>4. 福山市医師会禁煙対策委員会の活動状況<br/>福山市医師会禁煙対策委員 宮田 明</li> </ol> <p>グループ② 司会：広島県歯科医師会常務理事 石井みどり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 禁煙支援に向けての広島県歯科医師会の取り組み<br/>広島県歯科医師会公衆衛生担当理事 荒川信介</li> <li>6. 看護職のたばこ対策に関する取り組みについて<br/>社）広島県看護協会専務理事 楠谷京子</li> <li>7. 禁煙支援ネットワーク「薬剤とたばこの相互作用で注意する点」<br/>広島県薬剤師会常務理事 増田和彦</li> <li>8. 無煙世紀づくり運動「脱煙道場」事業<br/>財）広島県環境保健協会 地域活動支援センター長 薦田直紀</li> </ol> <p>グループ③ 司会：日赤看護大学教授 川根博司</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>9. 広島禁煙協議会の現状と課題<br/>広島禁煙協議会会長 河合護郎</li> <li>10. ファルマシア社からのお知らせ<br/>ファルマシア(株)コンシューマ・ヘルスケア事業部 小林隆夫</li> <li>11. 禁煙補助剤(ニコチネルTIS)について<br/>ノバルティス ファーマ株 OTC事業部 宮山利信</li> </ol> <p>(総合司会：広島県医師会禁煙推進委員会委員長 岩森 茂)</p> | 50人 |
| 第2回 | 平成15年8月30日<br>於：広島県公衆衛生会館 | <p>講話：「たばこ問題の緊要性」<br/>広島県禁煙支援ネットワーク運営委員長 岩森 茂</p> <p>第1部「広島県禁煙支援ネットワーク会員の取り組み」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 広島県歯科医師会</li> <li>2) 福山市医師会</li> <li>3) 広島県薬剤師会</li> <li>4) 広島県看護協会</li> <li>5) 広島県環境保健協会</li> </ol> <p>第2部「パネルディスカッション」<br/>～女性喫煙率低減 特に妊婦喫煙率ゼロ目標をめざして～<br/>座長：日赤看護大学教授 川根博司</p> <p>パネラー ① 広島県健康増進・歯科保健室長 日野尚子<br/>② 広島市保健予防担当課長 平野保子<br/>③ 広島県産婦人科医会 中国労災病院 松林 滋<br/>④ 広島県小児科医会 新田小児科 新田康郎</p>   | 70人 |
| 第3回 | 平成16年9月12日<br>於：広島県公衆衛生会館 | <p>第1部：「防塵教育をめぐる動き」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 園児向け防塵パープサートの実演<br/>安芸津町母子保健推進員</li> <li>2) 地域で取り組む防塵対策～親と子の防塵教室を中心に～<br/>福山市医師会 喫煙対策担当理事 児玉雅治</li> <li>3) 広島県教育委員会の取り組み<br/>県教育委員会 指導第三課健康教育係長 三宅京子</li> </ol> <p>第2部：講演「広島県禁煙支援ネットワークの活動・その現在と未来に向けて」<br/>広島県禁煙支援ネットワーク運営委員長 岩森 茂</p> <p>第3部：全体協議 コーディネーター 広島県環境保健協会 薦田直紀</p>  | 80人 |

| 回数  | 実施年月日                     | 内 容   | 参加者 |
|-----|---------------------------|---|-----|
| 第3回 | 平成16年9月12日<br>於：広島県公衆衛生会館 | ポスターセッション：ネットワーク会員等による展示・意見交換<br>広島県医師会「禁煙指導アトラス」<br>広島県歯科医師会「喫煙と歯周病」<br>広島県看護協会「協会におけるたばこ対策推進」<br>広島県薬剤師会「いや！たばこの煙」<br>福山市医師会「地域で取り組む防塵対策～親と子の防塵教室を中心に～」<br>広島県環境保健協会「地域ですすめる『脱煙道場』」<br>広島県（健康増進・歯科保健室）「健康生活応援店認定状況」<br>広島市（保健部保健医療課）「元気じゃけんひろしま21！市のたばこ対策」<br>広島市教育委員会「広島市立学校における学校内完全禁煙の実施について」<br>ノバルティスファーマ(株)「ニコチンパッチ」<br>ファイザー(株)「ニコレット」   |     |
| 第4回 | 平成17年9月3日<br>於：広島県薬事衛生会館  | 講演Ⅰ：「たばこ規制枠組み条約の発効と<br>広島県禁煙支援ネットワークの役割を考える」<br>広島県禁煙支援ネットワーク 運営委員長 岩森 茂<br>講演Ⅱ：「未成年者喫煙防止への取り組み」<br>中国たばこ販売協同組合連合会 会長 伊勢 榮一<br>講演Ⅲ：「禁煙外来最前線」<br>広島県環境保健協会 健康クリニック医療部長 勝部睦子<br>全体協議：コーディネーター 広島県環境保健協会 藤田直紀<br>ポスターセッション：ネットワーク会員等による展示・意見交換<br>広島県歯科医師会「喫煙宣言」、喫煙とお口の病気について<br>広島県看護協会「白衣には タバコの害は ミスマッチ」<br>広島県薬剤師会「平成17年度 薬剤師喫煙状況アンケート結果」<br>福山市医師会「福山市医師会における喫煙状況アンケートの結果」<br>広島県環境保健協会「地域ですすめる『脱煙道場』」<br>広島県（健康増進・歯科保健室）「未青年者および妊婦の喫煙防止について」<br>広島市（保健部保健医療課）「広島市受動喫煙防止対策ガイドライン」<br>広島市教育委員会「広島市立学校における学校内完全禁煙の実施について」<br>広島市（業務部業務第一課）「ポイ捨て当の防止に関する条例」<br>広島県栄養士会「たばこ対策の取り組み」<br>ノバルティスファーマ(株)「ニコチネルTTS」<br>ファイザー(株)「ニコレット」 | 73人 |
| 第5回 | 平成18年9月2日<br>於：広島県看護協会会館  | 情報提供Ⅰ：「禁煙外来の保険適用について」<br>広島社会保険事務局保険課 上席医療指導官 宮田 泰徳<br>情報提供Ⅱ：「禁煙タクシーの取り組み」<br>第一タクシー(株) 代表取締役 中富 祐二<br>着ぐるみディベート「ストレス解消にはたばこが一番？ ストレスVSたばこ」<br>まよめ講演：広島県禁煙支援ネットワーク運営委員長 岩森 茂<br>ポスターセッション：ネットワーク会員等による展示・意見交換<br>広島県医師会「禁煙外来推進の取り組み」<br>広島県歯科医師会「禁煙指導者歯科医におけるアンケート実態調査」<br>広島県看護協会「禁煙宣言」、禁煙標語 スモーカーライザー体験」<br>広島県薬剤師会「平成17年度 薬剤師喫煙状況アンケート結果②」<br>福山市医師会「福山バラ祭りにおける禁煙支援の取り組み」<br>広島県環境保健協会「幼児用防塵紙芝居」<br>広島県（健康増進・歯科保健室）「妊婦及び未成年者の喫煙問題」<br>広島市（保健部保健医療課）「子どもたちにたばこの煙のない環境を」<br>広島市教育委員会「広島市立学校における学校内完全禁煙の実施について」<br>ノバルティスファーマ(株)「ニコチネルTTS」<br>ファイザー(株)「ニコレット」   | 67人 |
| 第6回 | 平成19年10月28日<br>於：福山市医師会館  | 基調講演Ⅰ：「最近のたばこ事情」<br>日赤広島看護大学教授（ネットワーク運営委員） 川根 博司<br>基調講演Ⅱ：「禁煙支援最前線ーニコチン治療の現場からー」<br>福山市医師会 喫煙対策委員 海野 剛<br>広島禁煙ネットワークのあゆみ<br>広島県環境保健協会 地域活動支援センター長<br>（ネットワーク運営委員） 藤田 直紀<br>禁煙エブロンシアター：福山市薬剤師会 田口 直子<br>シンポジウム：「福山市の喫煙状況とその対策」<br>シンポジスト<br>福山市医師会 喫煙対策委員 徳毛 健治<br>福山市保健所<br>福山市教育委員会<br>福山東警察署<br>コーディネーター<br>福山市医師会喫煙対策担当理事（ネットワーク運営委員） 木村 真人<br>まよめ講話：広島県禁煙支援ネットワーク運営委員長 岩森 茂<br>活動状況展示（福山市の団体・企業からの発表）<br>福山市医師会・福山市保健所・福山市教育委員会<br>企業展示（ノバルティスファーマ、ジョンソン・エンド・ジョンソン）   | 93人 |

(4) 広島心身医学協会

【ねらい】

広島心身医学協会は自己の健康維持増進を求めると共に、心身医学の知識を仕事や職務、ボランティア活動に役立てようとする人々が心と体の結びつきを学習する市民団体であり、当会は事務局として運営にあたっている。

【実施内容】

| 実施年月日     | 会 議 ・ 研 修 等  | 出席者数  |
|-----------|--|-------|
| 4 月 14 日  | ●総会・記念講演会<br>記念講演Ⅰ「心療内科と心身医学協会」<br>日赤広島看護大 教授 松原秀樹先生<br>記念講演Ⅱ「うつや不安を弱める工夫」<br>北海道医療大学教授 坂野雄二先生 | 138 人 |
| 5 月 20 日  | ●他者に役立つ自分づくり講座①『聞く力』<br>日赤広島看護大教授 松原秀樹先生   | 50 人  |
| 6 月 17 日  | ●他者に役立つ自分づくり講座②『確かめる力』<br>日赤広島看護大教授 松原秀樹先生   | 54 人  |
| 7 月 22 日  | ●自律訓練法習得講座<br>～特別講座～「自律訓練法(初級編)講座」<br>広島心身医学協会世話人  | 45 人  |
| 8 月 19 日  | ●他者に役立つ自分づくり講座③『明確さを与える力』<br>日赤広島看護大教授 松原秀樹先生  | 45 人  |
| 9 月 30 日  | ●対人心理学セミナー<br>県立広島大学教授 中谷隆先生   | 34 人  |
| 10 月 14 日 | ●他者に役立つ自分づくり講座④『人のかかわり方』<br>日赤広島看護大教授 松原秀樹先生   | 34 人  |
| 11 月 11 日 | ●行動療法セミナー<br>広島国際大学教授 杉山雅彦先生   | 34 人  |
| 12 月 16 日 | ●会員限定特別セミナー<br>日赤広島看護大教授 松原秀樹先生<br>横山内科クリニック院長 横山巖先生   | 32 人  |
| 1 月 13 日  | ●他者に役立つ自分づくり講座⑤『筋弛緩法』<br>日赤広島看護大教授 松原秀樹先生  | 39 人  |
| 2 月 17 日  | ●心身症入門セミナー『心療内科医の目線から』<br>広島国際大学教授 杉山雅彦先生  | 40 人  |
| 3 月 16 日  | ●芸術療法セミナー『箱庭ワークショップ』<br>日赤広島看護大教授 松原秀樹先生   | 20 人  |
| 計 12 回    |  | 565 人 |

【評 価】

今年度は設立 30 周年の記念すべき年度となった。毎月 1 回心身医学に関するセミナーを年間で全 12 回開催し 565 人の参加者を得た。今後も自分自身の健康問題を考えてゆく市民団体として講演会、セミナーを開催していく。

5. 法令指定事業

(1) 医療法に基づく検査分析事業

1) 人間ドック及び診療

【ねらい】

健康保険・共済組合被保険者、個人・団体会員を対象とした多項目総合健診。検査項目の組み合わせにより各種コースを設定し、疾病の早期発見、早期治療に努める。また、生活習慣病治療のシステム化により、指導管理を実施する。

① 受診者数

平成 19 年度の各コース別の受診者数は、表 1 のとおりである。

表 1 コース別受診者数(単位:人)

| 宿泊ドック | 一日ドック |      |       | 半日ドック |       |       |       | 受診者総数  |
|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
|       | Sコース  | Aコース | 小計    | Bコース  | Cコース  | Dコース  | 小計    |        |
| 431   | 5,544 | 965  | 6,509 | 792   | 1,026 | 3,924 | 5,742 | 12,682 |

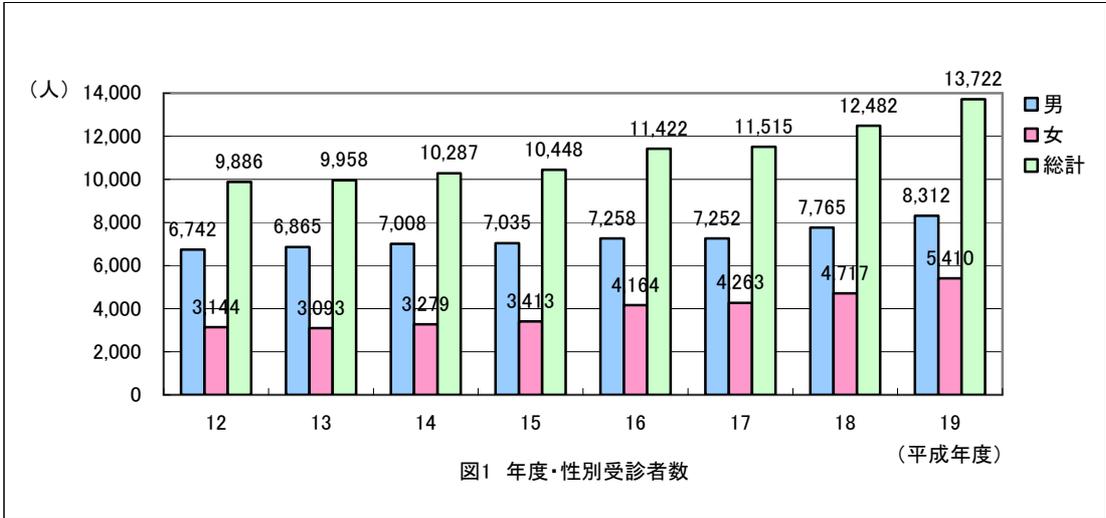
年度・性別受診者数は、表 2・図 1 のとおりである。

平成 12 年度から平成 19 年度における人間ドック受診者数は、平成 12 年度から増加傾向にあり、平成 19 年度には1万 3000 人を超えた。

表 2 平成 19 年度年度・性別受診者数

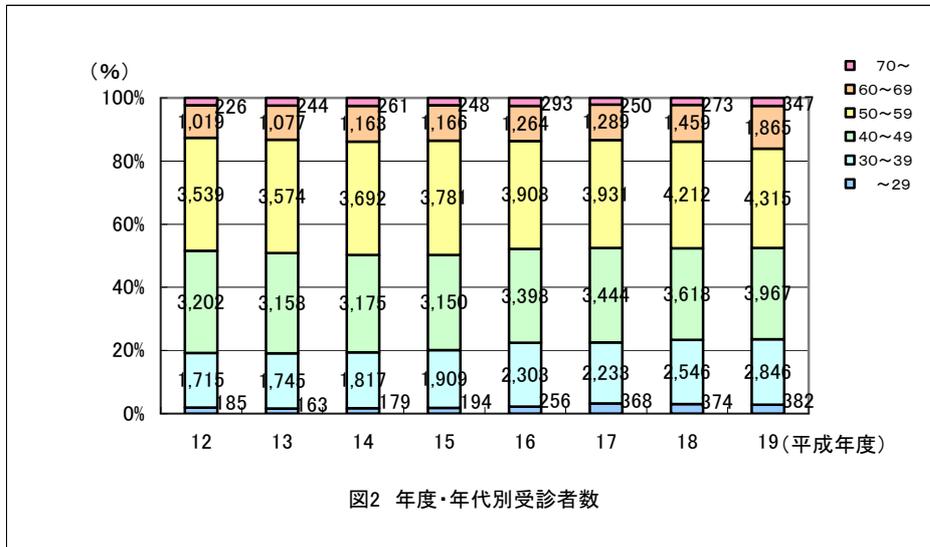
| 年代区分  | 性別 | 受診者数   | %    |
|-------|----|--------|------|
| ～29   | 男  | 73     | 0.9  |
|       | 女  | 309    | 5.7  |
|       | 小計 | 382    | 2.8  |
| 30～39 | 男  | 1,636  | 19.7 |
|       | 女  | 1,210  | 22.4 |
|       | 小計 | 2,846  | 20.7 |
| 40～49 | 男  | 2,484  | 29.9 |
|       | 女  | 1,483  | 27.4 |
|       | 小計 | 3,967  | 28.9 |
| 50～59 | 男  | 2,697  | 32.4 |
|       | 女  | 1,618  | 29.9 |
|       | 小計 | 4,315  | 31.4 |
| 60～69 | 男  | 1,216  | 14.6 |
|       | 女  | 649    | 12.0 |
|       | 小計 | 1,865  | 13.6 |
| 70～   | 男  | 206    | 2.5  |
|       | 女  | 141    | 2.6  |
|       | 小計 | 347    | 2.5  |
| 合計    | 男  | 8,312  | 60.6 |
|       | 女  | 5,410  | 39.4 |
|       | 総計 | 13,722 |      |

※G コース（婦人科検診のみ等）を含む



② 年代別受診者数

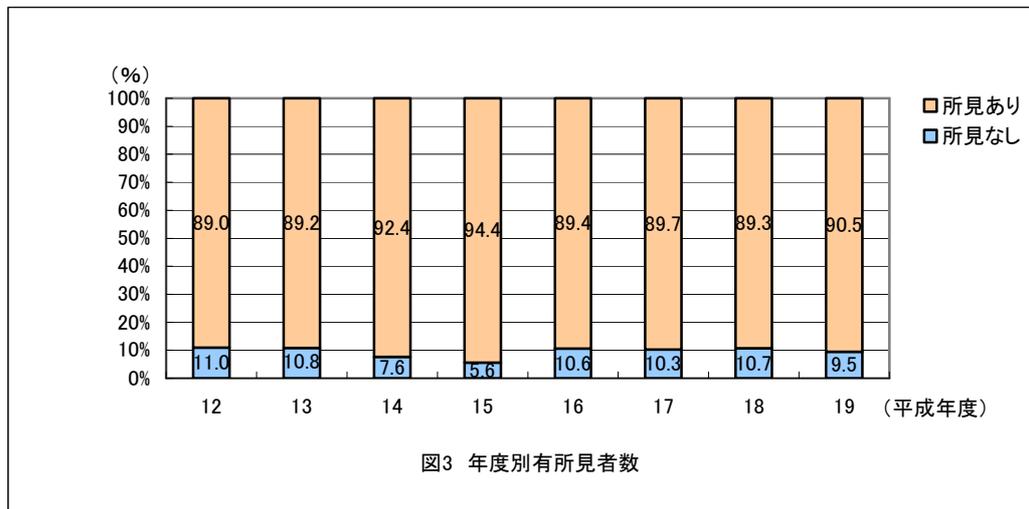
人間ドック受診者の年齢構成は、図2のとおりである。40～49歳代、50～59歳代で全体の約6割をしめている。



③ 有所見者数

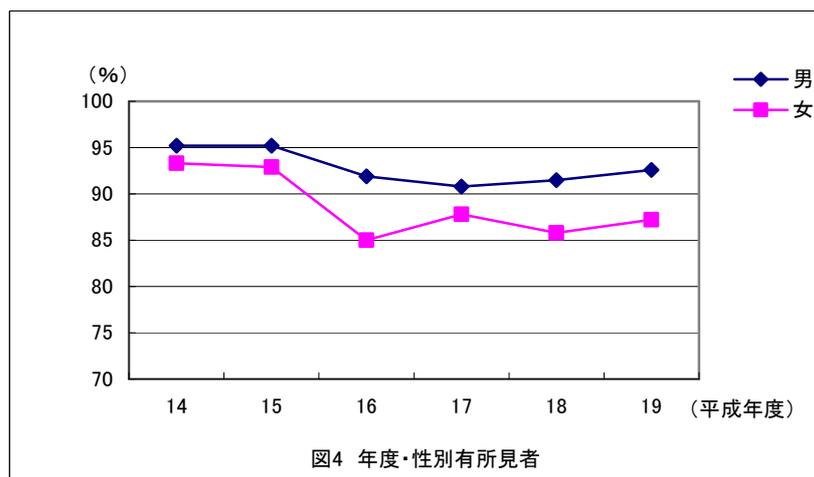
年度別有所見者数は、図3のとおりである。

人間ドック受診者のうち、なんらかの所見がある受診者は、全体の約90%を占めた。これは、平成12年度からほぼ変わっておらず、高い有所見率をしめしている。



④ 年度別・性別有所見者数

年度別・性別の有所見者は図4のとおりである。男女別では、男性のほうが女性よりも高い有所見率を示している。これは、平成14年度から変化していない。



⑤ 年度別・年代別有所見者率

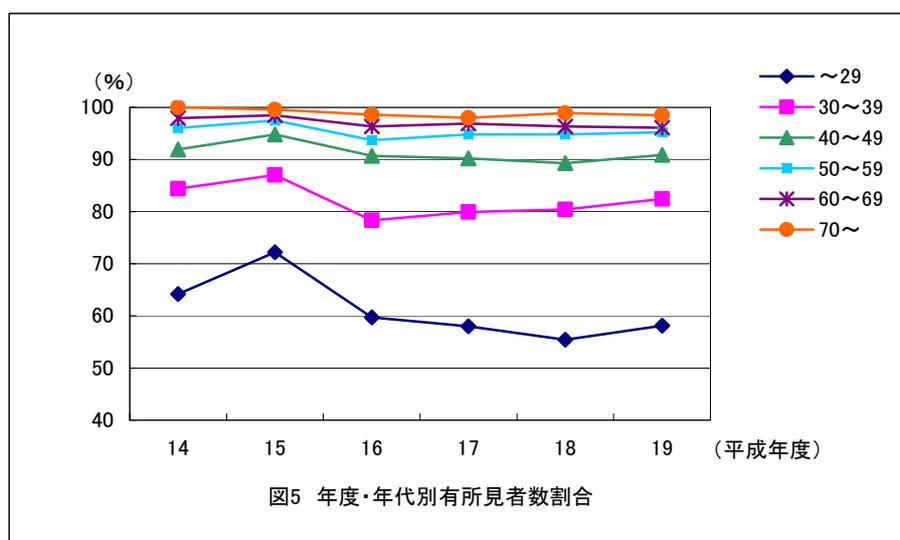
年度別・年代別の有所見者率は表3・図5のとおりである。

有所見率は、40歳以上で90%を超え、70歳以上では98%強となった。平成14年度からの経年変化は、すべての年代においてほぼ同様である。

表3 年度・年代別有所見者数(人間ドック総合判定)

| 平成年度   | 14          | 15          | 16          | 17          | 18          | 19          |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 人数(率)※ | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       |
| 年代     |             |             |             |             |             |             |
| ～29    | 115(64.2)   | 140(72.2)   | 142(59.7)   | 213(58.0)   | 205(55.4)   | 222(58.1)   |
| 30～39  | 1,533(84.4) | 1,661(87.0) | 1,794(78.3) | 1,774(79.9) | 2,036(80.4) | 2,337(82.4) |
| 40～49  | 2,918(91.9) | 2,985(94.8) | 3,059(90.7) | 3,081(90.2) | 3,202(89.3) | 3,570(90.9) |
| 50～59  | 3,543(96.0) | 3,687(97.5) | 3,633(93.7) | 3,706(94.8) | 3,944(94.8) | 4,072(95.2) |
| 60～69  | 1,139(97.9) | 1,148(98.5) | 1,211(96.3) | 1,241(96.9) | 1,399(96.3) | 1,786(96.1) |
| 70～    | 261(100.0)  | 247(99.6)   | 289(98.6)   | 243(98.0)   | 267(98.9)   | 339(98.5)   |

※各年代別の総受診者に対する割合



⑥ 人間ドック6項目の有所見者率

人間ドック6項目の有所見者数は、表4・図6のとおりである。

表4 人間ドックでの生活習慣病関連因子6項目の年度別有所見者数

| 平成年度     | 14           | 15           | 16           | 17           | 18           | 19           |
|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 人数(率)※   | 人数(%)        | 人数(%)        | 人数(%)        | 人数(%)        | 人数(%)        | 人数(%)        |
| 検査項目     |              |              |              |              |              |              |
| 肥満       | 2,428 (23.6) | 2,531 (24.2) | 2,549 (23.7) | 3,036 (28.1) | 3,840 (33.1) | 3,964 (31.3) |
| 高血圧      | 1,361 (13.2) | 1,423 (13.6) | 1,295 (12.1) | 1,388 (12.9) | 1,670 (14.4) | 1,933 (15.2) |
| 高コレステロール | 3,078 (29.9) | 3,938 (37.7) | 3,674 (34.2) | 3,448 (32.0) | 3,690 (31.8) | 3,865 (30.5) |
| 高中性脂肪    | 2,263 (22.0) | 2,586 (24.8) | 2,620 (24.4) | 2,533 (23.5) | 2,726 (23.5) | 2,860 (22.6) |
| 肝機能異常    | 3,183 (30.9) | 3,051 (29.2) | 2,798 (26.0) | 2,908 (27.0) | 2,940 (25.4) | 3,088 (24.3) |
| 高血糖      | 2,611 (24.2) | 2,086 (19.8) | 2,257 (21.0) | 2,306 (21.4) | 2,460 (21.2) | 2,772 (21.9) |

※各項目の総受診者に対する割合

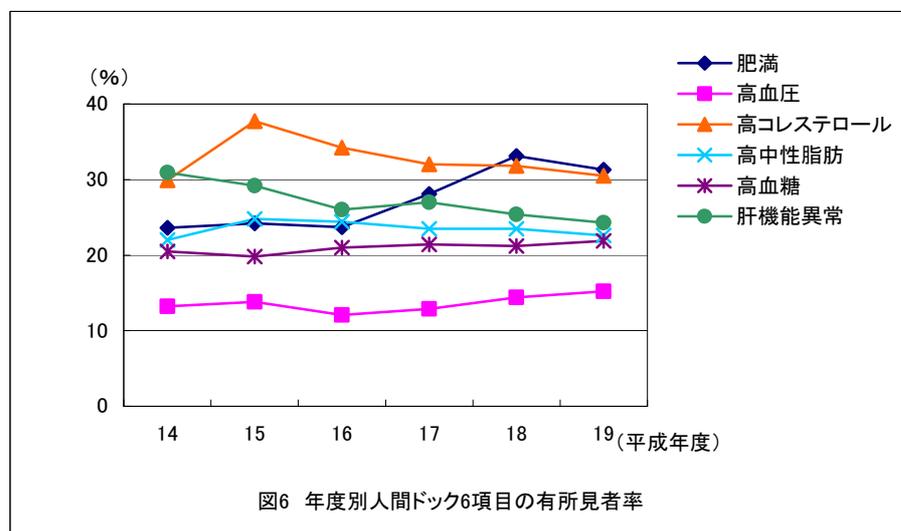


図6 年度別人間ドック6項目の有所見者率

表 5 人間ドック 6 項目の性別有所見者

| 平成年度     |   | 14          | 15          | 16          | 17          | 18          | 19          |
|----------|---|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 人数(率)※1  |   | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       |
| 検査項目     |   |             |             |             |             |             |             |
| 肥満       | 男 | 1,903(27.2) | 1,982(28.2) | 1,990(27.7) | 2,231(31.4) | 3,139(41.4) | 3,248(40.0) |
|          | 女 | 525(16.0)   | 549(16.1)   | 558(15.7)   | 805(21.8)   | 701(17.6)   | 716(15.7)   |
| 高血圧      | 男 | 1,053(15.0) | 1,107(15.7) | 977(13.6)   | 1,042(14.7) | 1,273(16.8) | 1,435(17.7) |
|          | 女 | 308( 9.4)   | 316( 9.3)   | 318( 8.9)   | 346( 9.4)   | 397( 9.9)   | 498(10.9)   |
| 高コレステロール | 男 | 2,033(19.8) | 2,602(24.9) | 2,442(34.0) | 2,356(33.2) | 2,439(32.1) | 2,547(31.4) |
|          | 女 | 1,045(10.2) | 1,336(12.8) | 1,232(34.5) | 1,092(29.6) | 1,251(31.3) | 1,318(28.9) |
| 高中性脂肪    | 男 | 1,970(19.2) | 2,255(21.6) | 2,260(31.5) | 2,230(31.4) | 2,372(31.2) | 2,445(30.1) |
|          | 女 | 293( 2.8)   | 331( 3.2)   | 360(10.1)   | 303( 8.2)   | 354( 8.9)   | 415( 9.1)   |
| 肝機能異常    | 男 | 2,839(27.6) | 2,692(25.8) | 2,473(34.5) | 2,526(35.6) | 2,578(34.0) | 2,698(33.2) |
|          | 女 | 344(30.3)   | 359( 3.4)   | 325( 9.1)   | 382(10.4)   | 362( 9.1)   | 390( 8.6)   |
| 高血糖      | 男 | 2,303(30.7) | 1,776(25.2) | 1,906(26.6) | 1,925(27.1) | 2,042(26.9) | 2,252(27.7) |
|          | 女 | 308( 9.4)   | 292( 8.6)   | 351( 9.8)   | 381(10.3)   | 418(10.5)   | 520(11.4)   |

※1 各項目の性別の総受診者に対する割合

表 6 人間ドック 6 項目の要継続治療を除く有所見者率の推移

| 項目<br>年度 | 肥満<br>(%)※ | 高血圧<br>(%) | 高コレステロール<br>(%) | 高中性脂肪<br>(%) | 肝機能異常<br>(%) | 高血糖<br>(%) |
|----------|------------|------------|-----------------|--------------|--------------|------------|
| 14       | 23.6       | 6.4        | 27.3            | 20.3         | 30.0         | 21.5       |
| 15       | 24.2       | 6.1        | 34.8            | 22.4         | 28.4         | 16.8       |
| 16       | 23.7       | 4.6        | 31.0            | 21.6         | 25.2         | 17.5       |
| 17       | 28.1       | 5.1        | 28.8            | 21.8         | 25.9         | 17.9       |
| 18       | 33.1       | 6.1        | 28.5            | 20.9         | 24.4         | 17.8       |
| 19       | 31.3       | 3.4        | 27.0            | 19.9         | 23.4         | 18.4       |

※各項目の総受診者に対する割合

⑦ その他の検診・検査

その他の検診・検査の受診人数は、表 7 のとおりである。

表 7 その他の検診・検査実施状況(単位:人)

|             |         |         |        |      |      |        |          |       |
|-------------|---------|---------|--------|------|------|--------|----------|-------|
| 乳がん         | 子宮がん    | マンモグラフィ | 乳腺エコー  | 脳ドック | 肺ドック | 腹部エコー  | 骨密度      | 胃カメラ  |
| 3,301       | 3,691   | 3,110   | 592    | 275  | 571  | 8,339  | 1,149    | 1,580 |
| アンチエイジングドック | 動脈硬化ドック |         | 更年期ドック |      | PET  | MC-FAN | ストレスマーカー |       |
| 13          | 36      |         | 34     |      | 9    | 264    | 64       |       |

⑧ 事後指導

各種事業の実施後に「事後指導」を実施した。実施数は表 8 のとおり。

表 8 事後指導実施人数

| 項目                               | 事業内容   | 実施数     |
|----------------------------------|--|---------|
| 健康管理指導                           | 人間ドックの診察後、検査結果の説明、必要な二次検査の内容や受診方法、生活改善ポイントを個別に指導。                                  | 4,213   |
| 診療栄養指導                           | 人間ドックを受け診後再来した受診者に対して保険診療で栄養分析、栄養処方、指導を実施。   | 1,226   |
| 運動負荷試験<br>運動指導                   | 主に宿泊ドックの男性受診者に自転車エルゴメーターによる運動負荷試験を実施し個々の生活に応じた運動処方を作成する。                           | 266     |
| 生活習慣病運動指導<br>教室 ①<br>運動負荷試験コース   | 人間ドック受診後再来した受診者に対して、体力測定(5項目)と最大酸素摂取量の測定を行い運動処方を作成する。また、筋力トレーニングやストレッチの実技指導を実施。    | 68      |
| 生活習慣病運動指導<br>教室 ②<br>ウォーキング指導コース | 人間ドック受診後再来した受診者に対して、体力測定(5項目)とウォーキング(歩き方)指導を行い運動処方を作成する。また、筋力トレーニングやストレッチの実技指導を実施。 | 118     |
| 転倒予防教室                           | 人間ドック受診後再来した受診者に対して、筋肉量測定を行い、その結果に基づき転倒予防に必要な歩き方や筋力トレーニング・ストレッチの実技指導を実施。           | 38      |
|                                  |  | 延 5,929 |

## 2) 特定外来診療(生活習慣病改善プログラム)

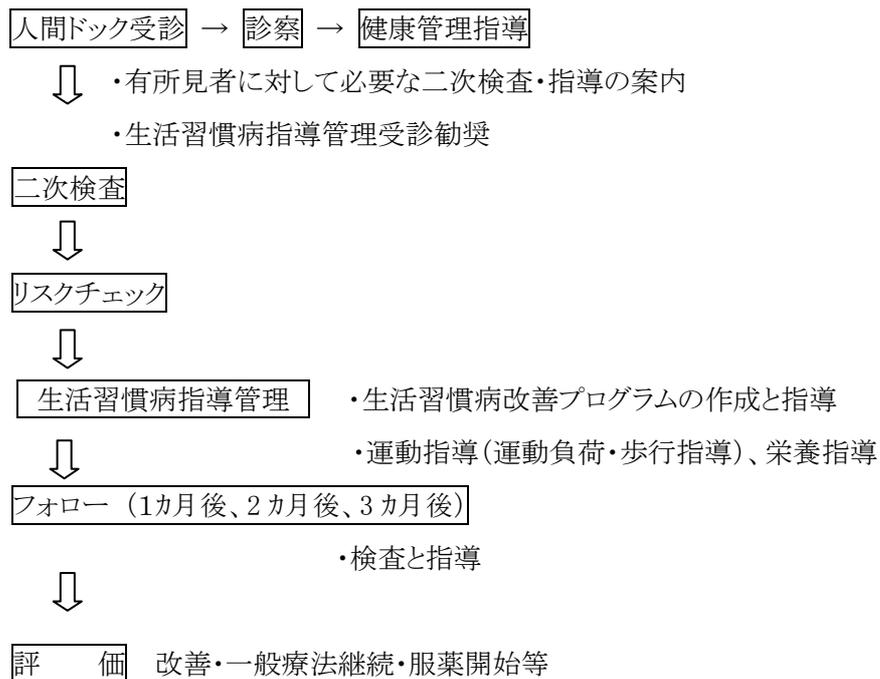
### 【ねらい】

健診事後フォローとして、個々に応じた療養計画の作成と指導により、生活習慣の早期治療・予防を図る。

### 【実施内容】

#### [管理体制]

|              |  |
|--------------|--|
| 有所見者に対する事後措置 | 生活習慣病のリスク者に対して、検査データ、家族歴、生活習慣も含めたリスクチェックを行い、個々に応じた療養計画を作成し指導する。基本的に計画は3~4カ月を1クールとしこの期間内に目標が達成できるようにほぼ1カ月ごとに指導し、最終月に評価のための検査を実施する。目標が達成できない場合は、再度計画を作り直し、指導を強化し正常化を目指す。 |
|--------------|--|



### 【評価】

昨年度まとめた管理フローに沿って受診勧奨を行い受診者増を目指した。昨年度生活習慣病管理料を算定した件数は235件であったが、今年度は380件と大幅に増加した。また、今年度、療養計画を作成したのは349件、再度作成が43件、服薬を開始したものは68件、服薬継続242件プログラム終了者は4名であった。療養計画まで受診する受診者は増えたが、プログラム終了までの継続者は伸び悩んでいる。次年度はフォローに力をいれ、生活習慣病の予防に寄与したいと考える。

### 3) 精密検査

人間ドック後における精密検査の実施状況は、表 9 のとおりである。

表 9 人間ドック後精密検査実施状況

|       |         |       |               |     |     |       |      |     |
|-------|---------|-------|---------------|-----|-----|-------|------|-----|
| 内視鏡検査 | 上 部     | 1,583 | 糖負荷試験         |     | 330 | 超音波検査 | 乳 腺  | 31  |
|       | 下 部     | 564   | 便潜血検査         |     | 214 |       | 腹 部  | 466 |
| X線検査  | 注 腸     | 1     | 尿一般検査         |     | 596 |       | 心 臓  | 125 |
|       | 胸部単純    | 70    | 細胞診検査         | 尿   | 131 |       | 甲状腺  | 48  |
|       | マンモグラフィ | 25    |               | 喀 痰 | 12  |       | 頸動脈  | 829 |
|       | DXA     | 123   |               | 子 宮 | 90  |       | ドプラ  | 83  |
|       | その他     | 2     | 心電図検査         |     | 40  |       | 基礎代謝 | 472 |
| CT検査  | 頭部撮影    | 0     | ホルター心電図検査     |     | 26  |       |      |     |
|       | 頭部造影    | 0     | 睡眠ポリグラフィ(PSG) |     | 123 |       |      |     |
|       | 躯幹撮影    | 330   | 肺機能検査         |     | 26  |       |      |     |
|       | 躯幹造影    | 14    | 脈波測定          |     | 761 |       |      |     |

### 4) 職域保健健診

#### ① 定期健康診断及び特殊健診

職域の労働者を対象として、労働安全衛生法に基づく健康診断を実施した。

#### ア. 受診者数

受診者数は、表 10 のとおり。また、職域健診における生活習慣病因子 5 項目の年度別受診者数は表 11 のとおり。

表 10 定期健康診断及び特殊健康診断受診者数

| 項 目                                | 受診者数   |
|------------------------------------|--------|
| 一般定期健康診断                           | 34,053 |
| 雇入時健康診断                            | 557    |
| じん肺・有機溶剤・鉛・電離放射線・特定化学物質等 特殊健康診断    | 4,256  |
| VDT・騒音・深夜業他行政指導に基づく健診、B型肝炎等の特定業務健診 | 11,687 |

表 11 職域健診での生活習慣病関連因子 5 項目の年度別受診者数

| 平成年度  | 14     | 15     | 16     | 17     | 18     | 19     |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 検査項目  | 人数     | 人数     | 人数     | 人数     | 人数     | 人数     |
| 肥満    | 25,766 | 26,919 | 28,255 | 30,915 | 30,676 | 31,778 |
| 高血圧   | 25,866 | 27,227 | 28,405 | 31,025 | 30,802 | 31,979 |
| 高脂質   | 19,316 | 21,034 | 21,662 | 23,357 | 20,871 | 22,105 |
| 肝機能異常 | 19,297 | 20,707 | 21,342 | 23,253 | 20,775 | 21,982 |
| 高血糖   | 25,902 | 27,132 | 28,309 | 30,908 | 30,776 | 31,903 |

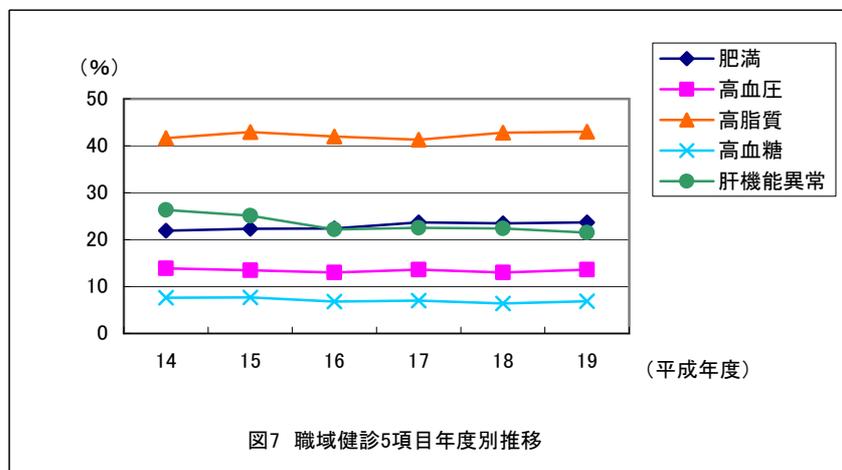
イ. 有所見者数

職域健診における生活習慣病関連因子 5 項目の年度別有所見者数は、表 12、  
図 7 のとおり。

表 12 職域健診での生活習慣病関連因子 5 項目の年度別有所見者数

| 平成年度  | 14          | 15          | 16          | 17          | 18          | 19          |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 検査項目  | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       |
| 肥満    | 5,655(21.9) | 6,001(22.3) | 6,328(22.4) | 7,326(23.7) | 7,221(23.5) | 7,528(23.7) |
| 高血圧   | 3,583(13.9) | 3,677(13.5) | 3,693(13.0) | 4,211(13.6) | 4,015(13.0) | 4,337(13.6) |
| 高脂質   | 8,041(41.6) | 9,026(42.9) | 9,095(42.0) | 9,648(41.3) | 8,936(42.8) | 9,507(43.0) |
| 肝機能異常 | 5,084(26.3) | 5,200(25.1) | 4,738(22.2) | 5,236(22.5) | 4,644(22.4) | 4,722(21.5) |
| 高血糖   | 1,973( 7.6) | 2,094( 7.7) | 1,913( 6.8) | 2,155( 7.0) | 1,971( 6.4) | 2,187( 6.9) |

※各項目の総受診者に対する割合

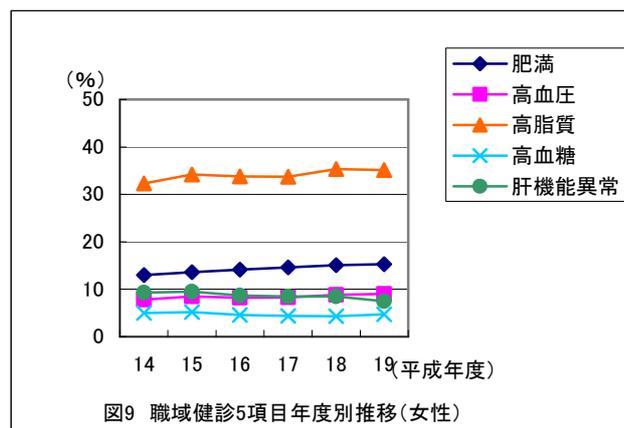
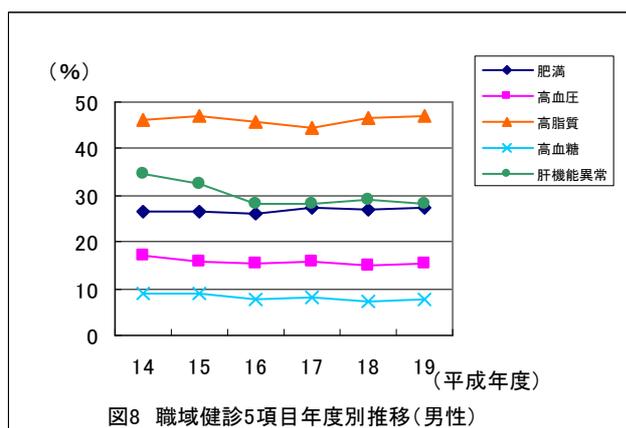


職域健診における生活習慣病関連因子 5 項目の年度・性別有所見者数は、表 13、図 8・9 のとおり。

表 13 職域健診 5 項目の年度・性別有所見者数

| 平成年度   |   | 14          | 15          | 16          | 17          | 18          | 19          |
|--------|---|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 人数(率)※ |   | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       |
| 検査項目   |   |             |             |             |             |             |             |
| 肥満     | 男 | 4,533(26.4) | 4,813(26.4) | 5,071(26.2) | 5,993(27.5) | 5,858(27.1) | 6,113(27.2) |
|        | 女 | 1,122(13.0) | 1,188(13.6) | 1,257(14.1) | 1,333(14.6) | 1,363(15.1) | 1,415(15.3) |
| 高血圧    | 男 | 2,903(16.9) | 2,936(15.9) | 2,963(15.2) | 3,458(15.8) | 3,221(14.8) | 3,499(15.4) |
|        | 女 | 680( 7.8)   | 741( 8.5)   | 730( 8.2)   | 753( 8.3)   | 794( 8.8)   | 838( 9.0)   |
| 高脂質    | 男 | 5,986(46.2) | 6,721(47.0) | 6,823(45.6) | 7,319(44.5) | 6,515(46.5) | 6,991(46.8) |
|        | 女 | 2,055(32.3) | 2,305(34.2) | 2,272(33.8) | 2,329(33.7) | 2,420(35.3) | 2,516(35.1) |
| 肝機能異常  | 男 | 4,487(34.8) | 4,567(32.5) | 4,161(28.3) | 4,655(28.4) | 4,073(29.0) | 4,183(28.2) |
|        | 女 | 597( 9.3)   | 633( 9.5)   | 577( 8.7)   | 581( 8.5)   | 571( 8.5)   | 539( 7.5)   |
| 高血糖    | 男 | 1,541( 8.9) | 1,638( 8.9) | 1,508( 7.7) | 1,753( 8.0) | 1,581( 7.3) | 1,749( 7.7) |
|        | 女 | 432( 5.0)   | 456( 5.2)   | 405( 4.6)   | 402( 4.4)   | 390( 4.3)   | 438( 4.7)   |

※各項目の性別の総受診者に対する割合



5) 地域保健検診

① 基本健康診査

地域住民を対象とした老人保健法に基づく健康診断を実施した。

ア. 受診者数

受診者数は 1,968 人、実施市町村数は 2 町であった。

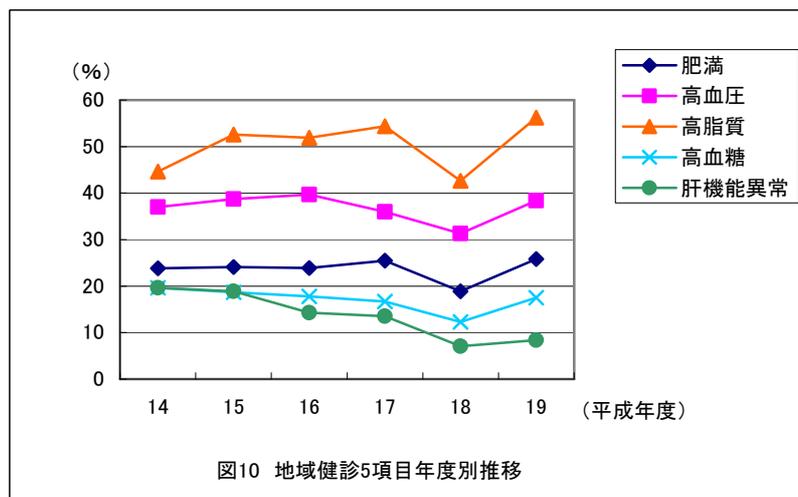
イ. 有所見者数

地域健診における生活習慣病関連因子 5 項目の年度別有所見者数は、表 14、  
図 10 のとおり。

表 14 地域健診での生活習慣病関連因子 5 項目の年度別有所見者

| 平成年度   | 14          | 15          | 16          | 17          | 18          | 19        |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 人数(率)※ | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)     |
| 肥満     | 2,209(23.8) | 2,214(24.1) | 2,042(23.9) | 495(25.5)   | 700(18.9)   | 484(25.8) |
| 高血圧    | 3,432(37.0) | 3,556(38.7) | 3,391(39.7) | 700(36.0)   | 1,162(31.3) | 391(21.1) |
| 高脂質    | 4,132(44.6) | 4,829(52.6) | 4,436(51.9) | 1,062(54.4) | 1,582(42.6) | 382(20.6) |
| 肝機能異常  | 1,814(19.6) | 1,732(18.9) | 1,216(14.3) | 261(13.5)   | 265( 7.1)   | 157( 8.4) |
| 高血糖    | 1,822(19.6) | 1,722(18.7) | 1,520(17.8) | 325(16.7)   | 456( 9.1)   | 325(17.5) |

※ 各項目の総受診者に対する割合

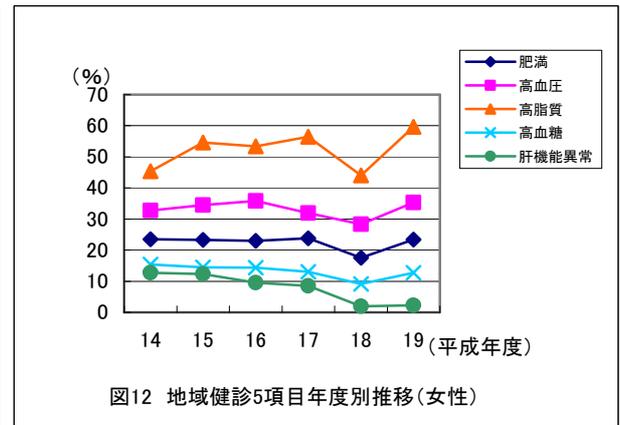
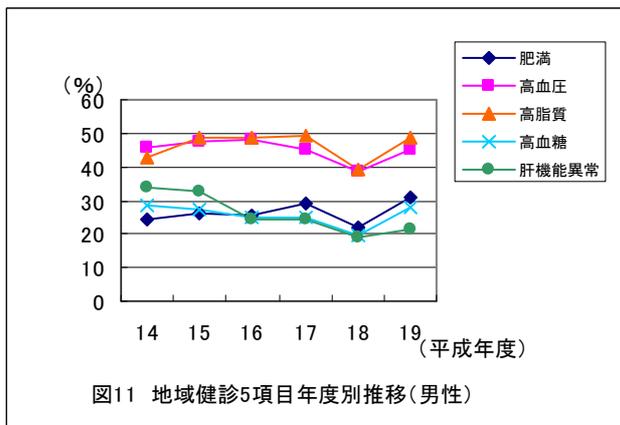


地域健診における生活習慣病関連因子5項目の年度・性別有所見者数は、表15、図11・12のとおり。

表15 地域健診での5項目の年度別性別有所見者

| 平成年度    |   | 14          | 15          | 16          | 17        | 18          | 19        |
|---------|---|-------------|-------------|-------------|-----------|-------------|-----------|
| 人数(率)※1 |   | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)       | 人数(%)     | 人数(%)       | 人数(%)     |
| 検査項目    |   |             |             |             |           |             |           |
| 肥満      | 男 | 733(24.4)   | 769(25.9)   | 717(25.8)   | 177(29.1) | 242(21.9)   | 183(31.0) |
|         | 女 | 1,476(23.5) | 1,445(23.3) | 1,325(23.0) | 318(23.8) | 447(17.6)   | 301(23.4) |
| 高血圧     | 男 | 1,379(46.0) | 1,410(47.5) | 1,329(47.9) | 275(45.2) | 426(38.5)   | 266(45.0) |
|         | 女 | 2,053(32.7) | 2,146(34.5) | 2,062(35.8) | 425(31.9) | 736(28.3)   | 446(35.3) |
| 高脂質     | 男 | 1,288(43.0) | 1,443(48.6) | 1,349(48.6) | 302(49.6) | 435(39.3)   | 289(48.9) |
|         | 女 | 2,844(45.4) | 3,386(54.6) | 3,087(53.4) | 760(56.5) | 1,147(44.0) | 752(59.6) |
| 肝機能異常   | 男 | 1,015(33.9) | 968(32.6)   | 671(24.2)   | 148(24.3) | 214(19.3)   | 128(21.5) |
|         | 女 | 799(12.7)   | 764(12.3)   | 545(9.5)    | 113(8.5)  | 51(2.0)     | 29(2.3)   |
| 高血糖     | 男 | 853(28.4)   | 820(27.6)   | 687(24.7)   | 150(24.7) | 218(19.7)   | 165(27.9) |
|         | 女 | 969(15.4)   | 902(14.5)   | 833(14.4)   | 175(13.0) | 238(9.1)    | 160(12.7) |

※1 各項目の性別の総受診者に対する割合



6) 大腸がん検診(便潜血検査)

ア. 地域における検診

地域住民を対象に、免疫法による便潜血反応検査を実施した。年代別・性別の有所見者数は、表 16 のとおりである。

表 16 地域検診における大腸がん検査有所見率

| 判定区分<br>年代区分・性別 | 異常なし |       | 要経過観察 |     | 要再検査 |   | 要精密検査 |    | 要受診  |    | 要継続治療 |   | 有所見者数<br>合計 |     | 受診者数 |       |       |
|-----------------|------|-------|-------|-----|------|---|-------|----|------|----|-------|---|-------------|-----|------|-------|-------|
|                 | 人数   | %     | 人数    | %   | 人数   | % | 人数    | %  | 人数   | %  | 人数    | % | 人数          | %   | 人数   | %     |       |
| ~39             | 男    | 0     |       | 0   |      | 0 |       | 0  |      | 0  |       |   |             | 0   |      | 0     |       |
|                 | 女    | 12    | 66.7  | 2   | 11.1 | 0 | 0.0   | 2  | 11.1 | 2  | 11.1  |   | 0.0         | 6   | 33.3 | 18    | 100.0 |
|                 | 小計   | 12    | 66.7  | 2   | 11.1 | 0 | 0.0   | 2  | 11.1 | 2  | 11.1  | 0 | 0.0         | 6   | 33.3 | 18    | 100.0 |
| 40~49           | 男    | 23    | 82.1  | 3   | 10.7 | 0 | 0.0   | 0  | 0.0  | 2  | 7.1   |   | 0.0         | 5   | 17.9 | 28    | 100.0 |
|                 | 女    | 94    | 83.2  | 9   | 8.0  | 0 | 0.0   | 3  | 2.7  | 7  | 6.2   |   | 0.0         | 19  | 16.8 | 113   | 100.0 |
|                 | 小計   | 117   | 83.0  | 12  | 8.5  | 0 | 0.0   | 3  | 2.1  | 9  | 6.4   | 0 | 0.0         | 24  | 17.0 | 141   | 100.0 |
| 50~59           | 男    | 59    | 86.8  | 1   | 1.5  | 0 | 0.0   | 2  | 2.9  | 6  | 8.8   |   | 0.0         | 9   | 13.2 | 68    | 100.0 |
|                 | 女    | 294   | 91.6  | 16  | 5.0  | 0 | 0.0   | 4  | 1.2  | 7  | 2.2   |   | 0.0         | 27  | 8.4  | 321   | 100.0 |
|                 | 小計   | 353   | 90.7  | 17  | 4.4  | 0 | 0.0   | 6  | 1.5  | 13 | 3.3   | 0 | 0.0         | 36  | 9.3  | 389   | 100.0 |
| 60~64           | 男    | 104   | 87.4  | 7   | 5.9  | 0 | 0.0   | 2  | 1.7  | 6  | 5.0   |   | 0.0         | 15  | 12.6 | 119   | 100.0 |
|                 | 女    | 287   | 90.8  | 14  | 4.4  | 0 | 0.0   | 2  | 0.6  | 13 | 4.1   |   | 0.0         | 29  | 9.2  | 316   | 100.0 |
|                 | 小計   | 391   | 89.9  | 21  | 4.8  | 0 | 0.0   | 4  | 0.9  | 19 | 4.4   | 0 | 0.0         | 44  | 10.1 | 435   | 100.0 |
| 65~69           | 男    | 203   | 88.3  | 8   | 3.5  | 0 | 0.0   | 10 | 4.3  | 9  | 3.9   |   | 0.0         | 27  | 11.7 | 230   | 100.0 |
|                 | 女    | 321   | 90.7  | 9   | 2.5  | 0 | 0.0   | 12 | 3.4  | 12 | 3.4   |   | 0.0         | 33  | 9.3  | 354   | 100.0 |
|                 | 小計   | 524   | 89.7  | 17  | 2.9  | 0 | 0.0   | 22 | 3.8  | 21 | 3.6   | 0 | 0.0         | 60  | 10.3 | 584   | 100.0 |
| 70~74           | 男    | 184   | 87.2  | 15  | 7.1  | 0 | 0.0   | 6  | 2.8  | 6  | 2.8   |   | 0.0         | 27  | 12.8 | 211   | 100.0 |
|                 | 女    | 339   | 89.7  | 21  | 5.6  | 0 | 0.0   | 8  | 2.1  | 10 | 2.6   |   | 0.0         | 39  | 10.3 | 378   | 100.0 |
|                 | 小計   | 523   | 88.8  | 36  | 6.1  | 0 | 0.0   | 14 | 2.4  | 16 | 2.7   | 0 | 0.0         | 66  | 11.2 | 589   | 100.0 |
| 75~             | 男    | 139   | 88.0  | 8   | 5.1  | 0 | 0.0   | 3  | 1.9  | 8  | 5.1   |   | 0.0         | 19  | 12.0 | 158   | 100.0 |
|                 | 女    | 192   | 88.9  | 11  | 5.1  | 0 | 0.0   | 7  | 3.2  | 6  | 2.8   |   | 0.0         | 24  | 11.1 | 216   | 100.0 |
|                 | 小計   | 331   | 88.5  | 19  | 5.1  | 0 | 0.0   | 10 | 2.7  | 14 | 3.7   | 0 | 0.0         | 43  | 11.5 | 374   | 100.0 |
| 合計              | 男    | 712   | 87.5  | 42  | 5.2  | 0 | 0.0   | 23 | 2.8  | 37 | 4.5   | 0 | 0.0         | 102 | 12.5 | 814   | 100.0 |
|                 | 女    | 1,539 | 89.7  | 82  | 4.8  | 0 | 0.0   | 38 | 2.2  | 57 | 3.3   | 0 | 0.0         | 177 | 10.3 | 1,716 | 100.0 |
|                 | 合計   | 2,251 | 89.0  | 124 | 4.9  | 0 | 0.0   | 61 | 2.4  | 94 | 3.7   | 0 | 0.0         | 279 | 11.0 | 2,530 | 100.0 |

イ. 職域における検診

職域労働者を対象に、免疫法による便潜血反応検査を実施した。年代別・性別の有所見者数は、表 17 のとおりである。

表 17 職域検診における大腸がん検査有所見率

| 判定区分<br>年代区分・性別 | 異常なし |       | 要経過観察 |     | 要再検査 |   | 要精密検査 |     | 要治療 |     | 要継続治療 |   | 有所見者数<br>合計 |     | 受診者数 |       |       |
|-----------------|------|-------|-------|-----|------|---|-------|-----|-----|-----|-------|---|-------------|-----|------|-------|-------|
|                 | 人数   | %     | 人数    | %   | 人数   | % | 人数    | %   | 人数  | %   | 人数    | % | 人数          | %   | 人数   | %     |       |
| ~19             | 男    | 0     |       | 0   |      | 0 |       | 0   |     | 0   |       |   |             | 0   |      | 0     |       |
|                 | 女    | 0     |       | 0   |      | 0 |       | 0   |     | 0   |       |   |             | 0   |      | 0     |       |
|                 | 小計   | 0     |       | 0   |      | 0 |       | 0   |     | 0   |       |   |             | 0   |      | 0     |       |
| 20~29           | 男    | 24    | 77.4  | 4   | 12.9 | 0 | 0.0   | 0   | 0.0 | 3   | 9.7   | 0 | 0.0         | 7   | 22.6 | 31    | 100.0 |
|                 | 女    | 68    | 85.0  | 6   | 7.5  | 0 | 0.0   | 2   | 2.5 | 4   | 5.0   | 0 | 0.0         | 12  | 15.0 | 80    | 100.0 |
|                 | 小計   | 92    | 82.9  | 10  | 9.0  | 0 | 0.0   | 2   | 1.8 | 7   | 6.3   | 0 | 0.0         | 19  | 17.1 | 111   | 100.0 |
| 30~39           | 男    | 501   | 80.8  | 59  | 9.5  | 0 | 0.0   | 16  | 2.6 | 44  | 7.1   | 0 | 0.0         | 119 | 19.2 | 620   | 100.0 |
|                 | 女    | 222   | 77.1  | 27  | 9.4  | 0 | 0.0   | 14  | 4.9 | 25  | 8.7   | 0 | 0.0         | 66  | 22.9 | 288   | 100.0 |
|                 | 小計   | 723   | 79.6  | 86  | 9.5  | 0 | 0.0   | 30  | 3.3 | 69  | 7.6   | 0 | 0.0         | 185 | 20.4 | 908   | 100.0 |
| 40~49           | 男    | 1,039 | 87.1  | 73  | 6.1  | 0 | 0.0   | 23  | 1.9 | 58  | 4.9   | 0 | 0.0         | 154 | 12.9 | 1,193 | 100.0 |
|                 | 女    | 435   | 84.6  | 32  | 6.2  | 0 | 0.0   | 19  | 3.7 | 28  | 5.4   | 0 | 0.0         | 79  | 15.4 | 514   | 100.0 |
|                 | 小計   | 1,474 | 86.4  | 105 | 6.2  | 0 | 0.0   | 42  | 2.5 | 86  | 5.0   | 0 | 0.0         | 233 | 13.6 | 1,707 | 100.0 |
| 50~59           | 男    | 999   | 88.2  | 54  | 4.8  | 0 | 0.0   | 44  | 3.9 | 36  | 3.2   | 0 | 0.0         | 134 | 11.8 | 1,133 | 100.0 |
|                 | 女    | 702   | 89.7  | 40  | 5.1  | 0 | 0.0   | 17  | 2.2 | 24  | 3.1   | 0 | 0.0         | 81  | 10.3 | 783   | 100.0 |
|                 | 小計   | 1,701 | 88.8  | 94  | 4.9  | 0 | 0.0   | 61  | 3.2 | 60  | 3.1   | 0 | 0.0         | 215 | 11.2 | 1,916 | 100.0 |
| 60~             | 男    | 582   | 87.7  | 35  | 5.3  | 0 | 0.0   | 24  | 3.6 | 23  | 3.5   | 0 | 0.0         | 82  | 12.3 | 664   | 100.0 |
|                 | 女    | 217   | 91.6  | 12  | 5.1  | 0 | 0.0   | 5   | 2.1 | 3   | 1.3   | 0 | 0.0         | 20  | 8.4  | 237   | 100.0 |
|                 | 小計   | 799   | 88.7  | 47  | 5.2  | 0 | 0.0   | 29  | 3.2 | 26  | 2.9   | 0 | 0.0         | 102 | 11.3 | 901   | 100.0 |
| 合計              | 男    | 3,145 | 86.4  | 225 | 6.2  | 0 | 0.0   | 107 | 2.9 | 164 | 4.5   | 0 | 0.0         | 496 | 13.6 | 3,641 | 100.0 |
|                 | 女    | 1,644 | 86.4  | 117 | 6.2  | 0 | 0.0   | 57  | 3.0 | 84  | 4.4   | 0 | 0.0         | 258 | 13.6 | 1,902 | 100.0 |
|                 | 合計   | 4,789 | 86.4  | 342 | 6.2  | 0 | 0.0   | 164 | 3.0 | 248 | 4.5   | 0 | 0.0         | 754 | 13.6 | 5,543 | 100.0 |

7) 胃がん検診(ペプシノーゲン検査)

ア. 職域における検診

職域労働者を対象に、血液による胃がん検診(ペプシノーゲン検査)を実施した。年代別・性別の有所見者数は、表 18 のとおりである。

なお、平成 19 年度において、地域住民を対象とした血液による胃がん検診(ペプシノーゲン検査)の実施はなかった。

表 18 職域検診におけるペプシノーゲン検査有所見率

| 判定区分<br>年代区分・性別 | 陰性  |       | 陽性   |    | 強陽性 |     | 有所見者数<br>合計 |     | 受診者数 |       |       |
|-----------------|-----|-------|------|----|-----|-----|-------------|-----|------|-------|-------|
|                 | 人数  | %     | 人数   | %  | 人数  | %   | 人数          | %   | 人数   | %     |       |
|                 | ～19 | 男     | 0    |    | 0   |     | 0           |     | 0    |       | 0     |
|                 | 女   | 0     |      | 0  |     | 0   |             | 0   |      | 0     |       |
|                 | 小計  | 0     |      | 0  |     | 0   |             | 0   |      | 0     |       |
| 20～29           | 男   | 22    | 95.7 | 0  | 0.0 | 1   | 4.3         | 1   | 4.3  | 23    | 100.0 |
|                 | 女   | 30    | 93.8 | 1  | 3.1 | 1   | 3.1         | 2   | 6.3  | 32    | 100.0 |
|                 | 小計  | 52    | 94.5 | 1  | 1.8 | 2   | 3.6         | 3   | 5.5  | 55    | 100.0 |
| 30～39           | 男   | 142   | 91.0 | 9  | 5.8 | 5   | 3.2         | 14  | 9.0  | 156   | 100.0 |
|                 | 女   | 44    | 97.8 | 1  | 2.2 | 0   | 0.0         | 1   | 2.2  | 45    | 100.0 |
|                 | 小計  | 186   | 92.5 | 10 | 5.0 | 5   | 2.5         | 15  | 7.5  | 201   | 100.0 |
| 40～49           | 男   | 562   | 88.1 | 8  | 1.3 | 68  | 10.7        | 76  | 11.9 | 638   | 100.0 |
|                 | 女   | 147   | 83.5 | 12 | 6.8 | 17  | 9.7         | 29  | 16.5 | 176   | 100.0 |
|                 | 小計  | 709   | 87.1 | 20 | 2.5 | 85  | 10.4        | 105 | 12.9 | 814   | 100.0 |
| 50～59           | 男   | 443   | 75.1 | 7  | 1.2 | 140 | 23.7        | 147 | 24.9 | 590   | 100.0 |
|                 | 女   | 156   | 75.0 | 4  | 1.9 | 48  | 23.1        | 52  | 25.0 | 208   | 100.0 |
|                 | 小計  | 599   | 75.1 | 11 | 1.4 | 188 | 23.6        | 199 | 24.9 | 798   | 100.0 |
| 60～             | 男   | 121   | 68.4 | 3  | 1.7 | 53  | 29.9        | 56  | 31.6 | 177   | 100.0 |
|                 | 女   | 20    | 62.5 | 1  | 3.1 | 11  | 34.4        | 12  | 37.5 | 32    | 100.0 |
|                 | 小計  | 141   | 67.5 | 4  | 1.9 | 64  | 30.6        | 68  | 32.5 | 209   | 100.0 |
| 合計              | 男   | 1,290 | 81.4 | 27 | 1.7 | 267 | 16.9        | 294 | 18.6 | 1,584 | 100.0 |
|                 | 女   | 397   | 80.5 | 19 | 3.9 | 77  | 15.6        | 96  | 19.5 | 493   | 100.0 |
|                 | 合計  | 1,687 | 81.2 | 46 | 2.2 | 344 | 16.6        | 390 | 18.8 | 2,077 | 100.0 |

8) 前立腺がん検診(PSA 検査)

ア. 地域における検診

地域住民を対象に、血液による前立腺がん検診(PSA 検査)を実施した。年代別の有所見者数は、表 19 のとおりである。

表 19 地域検診におけるPSA検査有所見率

| 判定区分<br>年代区分 | 異常なし |       | 要経過観察 |     | 要再検査 |      | 要精密検査 |     | 要受診 |     | 要継続治療 |     | 有所見者数<br>合計 |      | 受診者数 |       |
|--------------|------|-------|-------|-----|------|------|-------|-----|-----|-----|-------|-----|-------------|------|------|-------|
|              | 人数   | %     | 人数    | %   | 人数   | %    | 人数    | %   | 人数  | %   | 人数    | %   | 人数          | %    | 人数   | %     |
| ~39          | 0    |       | 0     |     | 0    |      | 0     |     | 0   |     | 0     |     | 0           |      | 0    |       |
| 40~49        | 0    |       | 0     |     | 0    |      | 0     |     | 0   |     | 0     |     | 0           |      | 0    |       |
| 50~59        | 7    | 100.0 | 0     | 0.0 | 0    | 0.0  | 0     | 0.0 | 0   | 0.0 | 0     | 0.0 | 0           | 0.0  | 7    | 100.0 |
| 60~64        | 14   | 93.3  | 0     | 0.0 | 1    | 6.7  | 0     | 0.0 | 0   | 0.0 | 0     | 0.0 | 1           | 6.7  | 15   | 100.0 |
| 65~69        | 28   | 90.3  | 0     | 0.0 | 2    | 6.5  | 1     | 3.2 | 0   | 0.0 | 0     | 0.0 | 3           | 9.7  | 31   | 100.0 |
| 70~74        | 30   | 88.2  | 0     | 0.0 | 4    | 11.8 | 0     | 0.0 | 0   | 0.0 | 0     | 0.0 | 4           | 11.8 | 34   | 100.0 |
| 75~          | 22   | 88.0  | 0     | 0.0 | 3    | 12.0 | 0     | 0.0 | 0   | 0.0 | 0     | 0.0 | 3           | 12.0 | 25   | 100.0 |
| 合計           | 101  | 90.2  | 0     | 0.0 | 10   | 8.9  | 1     | 0.9 | 0   | 0.0 | 0     | 0.0 | 11          | 9.8  | 112  | 100.0 |

イ. 職域における検診

職域労働者を対象に、血液による前立腺がん検診(PSA 検査)を実施した。年代別の有所見者数は、表 20 のとおりである。

表 20 職域検診におけるPSA検査有所見率

| 判定区分<br>年代区分 | 異常なし |       | 要経過観察 |     | 要再検査 |      | 要精密検査 |     | 要受診 |     | 要継続治療 |     | 有所見者数<br>合計 |      | 受診者数 |       |
|--------------|------|-------|-------|-----|------|------|-------|-----|-----|-----|-------|-----|-------------|------|------|-------|
|              | 人数   | %     | 人数    | %   | 人数   | %    | 人数    | %   | 人数  | %   | 人数    | %   | 人数          | %    | 人数   | %     |
| ~39          | 14   | 100.0 | 0     | 0.0 | 0    | 0.0  | 0     | 0.0 | 0   | 0.0 | 0     | 0.0 | 0           | 0.0  | 14   | 100.0 |
| 40~49        | 34   | 100.0 | 0     | 0.0 | 0    | 0.0  | 0     | 0.0 | 0   | 0.0 | 0     | 0.0 | 0           | 0.0  | 34   | 100.0 |
| 50~59        | 52   | 94.5  | 0     | 0.0 | 3    | 5.5  | 0     | 0.0 | 0   | 0.0 | 0     | 0.0 | 3           | 5.5  | 55   | 100.0 |
| 60~64        | 16   | 94.1  | 0     | 0.0 | 1    | 5.9  | 0     | 0.0 | 0   | 0.0 | 0     | 0.0 | 1           | 5.9  | 17   | 100.0 |
| 65~69        | 7    | 87.5  | 0     | 0.0 | 1    | 12.5 | 0     | 0.0 | 0   | 0.0 | 0     | 0.0 | 1           | 12.5 | 8    | 100.0 |
| 70~74        | 4    | 100.0 | 0     | 0.0 | 0    | 0.0  | 0     | 0.0 | 0   | 0.0 | 0     | 0.0 | 0           | 0.0  | 4    | 100.0 |
| 75~          | 1    | 100.0 | 0     | 0.0 | 0    | 0.0  | 0     | 0.0 | 0   | 0.0 | 0     | 0.0 | 0           | 0.0  | 1    | 100.0 |
| 合計           | 128  | 96.2  | 0     | 0.0 | 5    | 3.8  | 0     | 0.0 | 0   | 0.0 | 0     | 0.0 | 5           | 3.8  | 133  | 100.0 |

## 9) 肝炎検診

地域住民・職域労働者を対象に肝炎対策として、HCV 抗体、HBs 抗原・抗体検査を実施した。肝炎ウイルス陽性者数は表 21 に示すとおりである。

表 21 肝炎ウイルス検査種別陽性者数

| 区分   |    | 人数    | 陽性率(%) |
|------|----|-------|--------|
| B型肝炎 | 陰性 | 1,295 | 0.8    |
|      | 陽性 | 11    |        |
| C型肝炎 | 陰性 | 474   | 4.8    |
|      | 陽性 | 24    |        |

## 10) 生活機能評価

65 歳以上を対象に「介護予防のための生活機能に関する評価」を基本健康診査と併せて実施した。受診者数は 1,139 人、実施市町村数は 2 町であった。

### (2) 原爆被爆者健康診断

原爆被爆者に対する援護に関する法律に基づく被爆者の健康診断を実施した。一般検査の他に医師の指示による肝機能検査、本人希望により骨密度検査や多発性骨髄腫検査を実施した。

#### 1) 受診者数

平成 19 年度の当会は 30 市町村、11,931 人が対象であった。実施状況は表 22 のとおり。

表 22 原爆被爆者健康診断実施状況

| 対象者数     | 受診者数    | 受診率   | 一般検査    | 肝機能検査   | 多発性骨髄腫  |
|----------|---------|-------|---------|---------|---------|
| 11,931 人 | 4,046 人 | 33.9% | 4,046 人 | 4,035 人 | 2,009 人 |

2) 有所見者数

一般検査、精密検査(肝機能、多発性骨髄腫)の有所見者数は表 23 のとおりである。

表 23 検査種別の骨髄腫有所見者数

| 判 定   | 一般検査  |       | 肝機能検査 |       | 多発性骨髄腫 |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
|       | 人数    | %     | 人数    | %     | 人数     | %     |
| 異常なし  | 460   | 11.4  | 3,523 | 87.3  | 1,996  | 99.4  |
| 医療中   | 3,504 | 86.6  | —     | —     | —      | —     |
| 要精密検査 | 59    | 1.5   | 512   | 12.7  | 13     | 0.6   |
| 未診察   | 23    | 0.6   | —     | —     | —      | —     |
| 合 計   | 4,046 | 100.0 | 4,035 | 100.0 | 2,009  | 100.0 |

(3) 学校保健に係る健診

1) 学校保健法に基づく健診・検査

幼稚園、小中学校、高等学校の児童・生徒の諸検査及び大学生の健康診断を実施した。

実施状況は表 24 に示すとおり。

表 24 学校保健法に基づく健診、検査の実施状況(単位:人)

| 尿検査    | 寄生虫卵検査 | 蟯虫卵検査 | 心電図検査 | 学生健診  |
|--------|--------|-------|-------|-------|
| 22,980 | 747    | 9,675 | 3,262 | 8,706 |

#### (4) 悪性腫瘍発見数

##### 1) 人間ドックにおける発見数

人間ドックにおける紹介状返信状況は表 25 のとおり。また人間ドックにおける悪性腫瘍発見率は表 26 のとおり。

表 25 平成 19 年度人間ドックでの紹介状返信状況

| 受診者数(人) | 紹介状発信数(件) | 紹介状返信数(件) | 返信率(%) |
|---------|-----------|-----------|--------|
| 13,722  | 1,023     | 554       | 54.2   |

表 26 平成 19 年度人間ドックでのがん発見率(対受診者数)

| 部 位       | 発見数(件) | 発見率(%) |
|-----------|--------|--------|
| 甲状腺       | 3      | 0.02%  |
| 胃・食道・十二指腸 | 13     | 0.09%  |
| 大腸        | 5      | 0.04%  |
| 肝臓        | 4      | 0.03%  |
| 胸部        | 17     | 0.12%  |
| 腎臓・尿路・後腹膜 | 5      | 0.04%  |
| 乳腺        | 7      | 0.13%  |
| 子宮・卵巣     | 3      | 0.06%  |
| その他の悪性疑い  | 4      | 0.03%  |

##### 2) 地域健診における発見数

地域健診における紹介状返信状況は表 27 のとおり。また地域健診における悪性腫瘍発見率は表 28 のとおり。

表 27 平成 19 年度地域健診での紹介状返信状況

| 受診者数(人) | 紹介状発信数(件) | 紹介状返信数(件) | 返信率(%) |
|---------|-----------|-----------|--------|
| 2,112   | 155       | 63        | 40.6   |

表 28 平成 19 年度地域健診でのがん発見率(対受診者数)

| 部位    | 発見数(件) | 発見率(%) |
|-------|--------|--------|
| 大腸がん  | 2      | 0.08   |
| 肺がん   | --     | --     |
| 胃がん   | --     | --     |
| 前立腺がん | --     | --     |

3) 職域健診における発見数

職域健診における紹介状返信状況は表 29 のとおり。また職域健診における悪性腫瘍発見率は表 30 のとおり。

表 29 平成 19 年度職域健診での紹介状返信状況

| 受診者数(人) | 紹介状発信数(件) | 紹介状返信数(件) | 返信率(%) |
|---------|-----------|-----------|--------|
| 34,243  | 864       | 228       | 26.4   |

表 30 平成 19 年度職域健診でのがん発見率(対受診者数)

| 部位    | 発見数(件) | 発見率(%) |
|-------|--------|--------|
| 肺がん   | 7      | 0.026  |
| 大腸がん  | 1      | 0.018  |
| 前立腺がん | 2      | 1.504  |

(5) 臨床検査技師法(登録衛生検査所)に基づく検査分析事業

1) 腸内細菌の保菌検索実施数

食品衛生法、労働安全衛生法に基づく食品取扱い従事者、給食従事者を対象に、腸内細菌(赤痢・腸チフス・パラチフス・その他のサルモネラ)の保菌検索を実施した。実施件数は表 31 のとおり。

表 31 腸内細菌の保菌検索実施数

| 事業内容                               | 事業所数  | 検査件数    |
|------------------------------------|-------|---------|
| 腸内細菌(赤痢・腸チフス・パラチフス・その他のサルモネラ)の保菌検索 | 1,879 | 72,347  |
| 腸管出血性大腸菌O157、病原性大腸菌群 他             | 6,161 | 60,811  |
| 合計                                 | 7,214 | 126,355 |

6. 一般受託事業

(1) 作業環境測定(事業年度 平成 19 年 4 月から平成 20 年 3 月まで)

作業環境測定の実施状況は表 32 のとおりである。

表 32 作業環境測定の実施状況

|                                  |  |              |             |             |            |            |     |   |
|----------------------------------|--|--------------|-------------|-------------|------------|------------|-----|---|
| 登録号                              | 34-2   |              |             |             |            |            |     |   |
| 機関名称                             | 財団法人 広島県環境保健協会   |              | 職員数         | 作業環境測定士     |            | 技術職員       | その他 | 計 |
| 所在地                              | (〒730-8631)<br>広島市中区広瀬北町9番1号<br>TEL(082)-293-1515<br>FAX(082)-234-0840 |              |             | 第一種         | 第二種        | (測定補助)     | の職員 |   |
|                                  |  |              |             | 4           | 5          | 2          | 2   |   |
| 登録を受けている作業場の種類                   |  |              | 第①号         | 第②号         | 第③号        | 第④号        | 第⑤号 |   |
| 測定対象事業場                          |  | 測定実施<br>事業場数 | 延単位<br>作業場数 | 延単位作業場の管理区分 |            |            |     |   |
|                                  |  |              |             | 第一<br>管理区分  | 第二<br>管理区分 | 第三<br>管理区分 |     |   |
| 鉛物性粉じん<br>(別表第1号)                | 石綿   | 4            | 6           | 6           | 0          | 0          |     |   |
|                                  | 石綿以外   | 4            | 6           | 6           | 0          | 0          |     |   |
| 放射性物質 (別表第2号)                    |  |              |             |             |            |            |     |   |
| 特定化学物質等 (石綿・金属類<br>を除く)(別表第3号)   |  | 18<br>(0)    | 26<br>(0)   | 23          | 0          | 3          |     |   |
| 金属類<br>(別表第4号)                   | 鉛  | 0            | 0           | 0           | 0          | 0          |     |   |
|                                  | 鉛以外  | 8            | 10          | 10          | 0          | 0          |     |   |
| 有機溶剤 (別表第5号)                     |  | 26           | 60          | 51          | 5          | 4          |     |   |
| 騒音 (騒音障害防止のためのガ<br>イドライン別表1、別表2) |  | 4            | 8           | 6           | 2          | 0          |     |   |
| 事務所 (事務所則第7条)                    |  | 0            | 0           |             |            |            |     |   |
| 分析に係る外部委託の有無                     |  |              | 有(物質名: )・無  |             |            |            |     |   |
| 備考                               |  |              |             |             |            |            |     |   |